

# 事業概要【北海道観光の再構築と地域の魅力を活かし人を呼び込む北海道づくり】

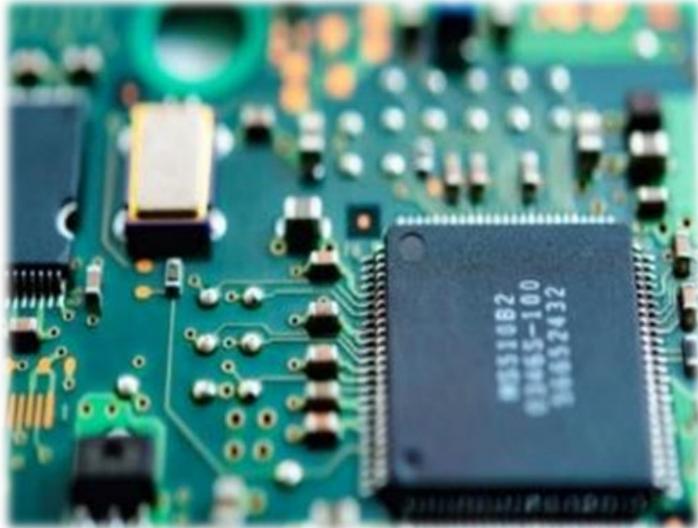
旧制度（推進）

申請者	北海道	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	587,765千円（122,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>・観光誘客促進を図るためのマーケティングデータの収集・分析や道内観光に求められるニーズの多様化を受けた、誰もが安全・安心に道内旅行を楽しむことができる環境の整備などを行う。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】 北海道ならではのワーケーションのデジタルマーケティングや観光コンテンツのプロモーションへの取組、移住・定住の促進に向けた相談体制のボトムアップやリピーター等への調査・分析を実施。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国内旅行へのシフトにおける課題への対応</li> <li>・ワーケーション等のデジタルプロモーション 18,000千円</li> <li>○観光コンテンツの磨き上げにおける課題への対応</li> <li>・観光コンテンツのデジタルプロモーション 13,000千円</li> <li>・バリアフリー観光等の案内窓口の構築、情報発信 20,000千円</li> <li>・国内外で競合する他地域の施策分析結果の活用 7,000千円</li> <li>○移住・定住の促進における課題への対応</li> <li>・移住に関心を持つ層に対するデジタルプロモーション、相談体制の定着 34,000千円</li> <li>・リピーター等の旅行時における意識・消費行動等の調査・分析結果の活用 30,000千円</li> </ul>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①長期滞在者数（+400,600人）</li> <li>②北海道の移住・定住情報を発信するサイトのアクセス数（+4,012件）</li> <li>③国内観光客の総観光消費額（+2,521.9億円）</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/c/ategory/d012/c082/s413/">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/c/ategory/d012/c082/s413/</a></p>

# 事業概要【子育てを社会全体で支える「子ども応援社会」の実現】

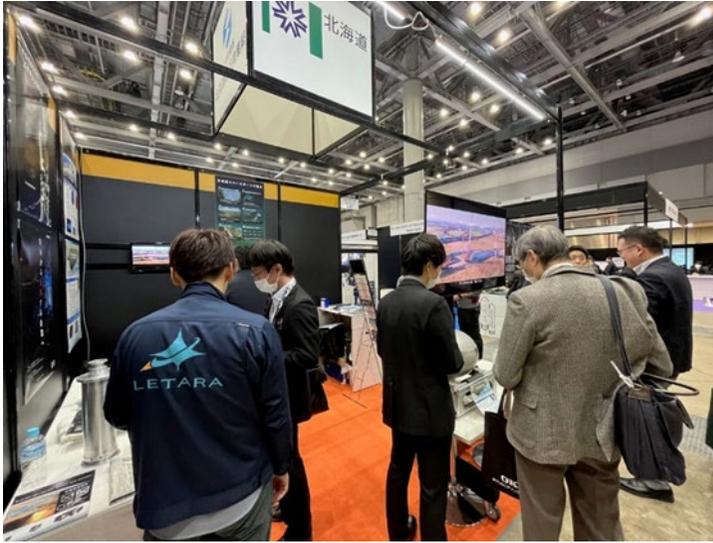
旧制度（推進）

申請者	北海道	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	219,038千円 (82,433千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心・安定した子育て環境の整備を推進することにより本道への呼び込みと定着の強化を推進するため、若年層や子育て世代等がもつ経済面や子育て環境の不安解消に向けて、地域企業の受け入れ体制整備や地域コミュニティの受け入れ体制形成に向けた支援、地域で身近な相談者の人材育成などを実施。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 地域企業の受入体制整備への企業向けセミナーの開催やインターンシップ等就業・暮らし体験の取組、地域の当事者、団体等と関わりを持つためのフィールドワーク・講演等の開催や地域に貢献できる人材の育成に向けた研修等を実施するとともに、北海道の優位性のPRを実施。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○結婚や出産の希望をかなえる環境づくりにおける課題への対応</li> <li>・心豊かに暮らす人を調査し、優良事例として地域の企業向けセミナーを開催（委託費11,659千円）</li> <li>・地域企業でのインターンシップ及び住民と交流しながら暮らす就業・暮らし体験（委託費9,645千円、事務費756千円）</li> <li>○地域全体で子どもを見守り育てる社会づくりにおける課題への対応</li> <li>・地域の当事者、団体、行政などが関わり合える場としてフィールドワークや講演、交流会を開催（委託費238千円、事務費3,236千円）</li> <li>・産官学（地域企業、行政、地域及び外部の学術有識者など）連携による地域資源（自然、文化、遺産など）を活用した次世代へつなぐ人材を育成する研修（負担金25,779千円）</li> <li>○若年層・子育て世代の呼び込みにおける課題への対応</li> <li>・北海道の優位性PR及び移住関心層の属性・ニーズ等を把握・分析（委託費9,859千円、事務費1,028千円）</li> <li>・先輩移住者による暮らし方、働き方、生活環境等に関するセミナーを開催（委託費19,494千円、事務費739千円）</li> </ul>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①北海道の年少人口（0～14歳）の割合（+0.21%）</li> <li>②理想の子ども数を持たない理由で「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（▲6.6%）</li> <li>③40代以下の移住相談件数（+102件）</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/categary/d012/c082/s413/">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/categary/d012/c082/s413/</a></p>
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			

申請者	北海道	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	170,751千円（68,778千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>・次世代半導体製造拠点の立地決定を好機と捉えて、世界中から研究者や技術者が集う拠点形成の実現に向け、海外企業や道内企業とのイノベーションが期待される技術を持つ企業の招へい、将来の人材確保に向けた若年層の意識付けやデジタル人材の育成などを実施。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 北海道の立地優位性アピールのための展示会への出展や、海外企業等の招へい・視察アテンド、トップセールス等による立地環境等の魅力発信に向けた取組、半導体関連産業への参入を目指す道内企業向けの支援及び半導体に関する理解を深める道民向けのセミナー等を実施。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国内外企業の誘致活動・トップセールス 38,229千円 (委託料 33,969千円、事務費 4,260千円)</li> <li>・国内外の大規模な半導体専門展示会への出展 7,505千円 (委託料 7,505千円)</li> <li>・海外企業の招へい、視察アテンド 19,819千円 (委託料 19,656千円、事務費 163千円)</li> <li>・投資誘致セミナー・フォーラム等の開催 10,905千円 (委託料 6,808千円、事務費 4,097千円)</li> <li>○道内企業等の参入支援 12,021千円 (委託料 11,989千円、事務費 32千円)</li> <li>○誘致企業定着及びさらなる誘致に向けた機運醸成 18,528千円</li> <li>・半導体に関する理解を深めるセミナーの開催 (委託料 18,528千円)</li> </ul>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①半導体関連分野の企業誘致件数（+12件）</li> <li>②半導体関連分野の海外からの投資件数（+6件）</li> <li>③本事業により半導体産業への理解が深まったと回答した人の人数（+1,180人）</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/c/ategory/d012/c082/s413/">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/c/ategory/d012/c082/s413/</a></p>
※経費内訳はR7年度事業費	<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		

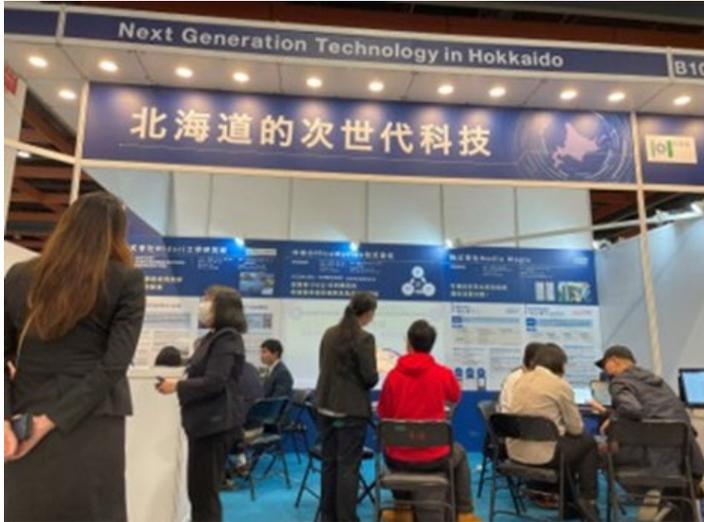
# 事業概要【北海道未来実装「地方×宇宙ビジネス」加速化事業】

旧制度（推進）

申請者	北海道	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	174,778千円 (61,243千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>・北海道発宇宙事業の宇宙分野に止まらない新たなマーケット創出・ニーズ発掘など事業領域の多角化を図るため、幅広い関連産業の育成やスタートアップ企業の創出支援などを実施。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】 宇宙関連・スタートアップ企業向けの意見交換会等の開催や他県と連携した資金調達面の支援に関する取組、企業説明会や就業体験会の開催による宇宙事業関連人材の確保支援や起業家への伴奏支援等スタートアップ支援を実施。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○他県との連携強化（S-NET推進自治体連携事業）</li> <li>・新たなビジネス創出に向けた意見交換及び投資家との交流の場の創出（事務費1,091千円）</li> <li>・海外需要獲得に向けた主要国際会議への出展（事務費5,587千円）</li> <li>・市町村と連携した宇宙イベントの開催（委託料5,383千円）</li> <li>○人材確保支援</li> <li>・企業説明会（委託料1,891千円）</li> <li>・就業体験会の実施（委託料2,195千円）</li> <li>○スタートアップ支援</li> <li>・伴走支援プログラム（委託料26,241千円）</li> <li>・事業展開支援・定着支援プログラム（委託料18,795千円、使用料60千円）</li> </ul>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①資金調達する宇宙関連スタートアップ企業数（+10社）</li> <li>②道内宇宙関連企業における新規雇用者数（+21人）</li> <li>③道事業により創出・集積したスタートアップ企業数（+32社）</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/cateory/d012/c082/s413/">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/cateory/d012/c082/s413/</a></p>

# 事業概要【高度外国人材に選ばれるほっかいどうイノベーション創出事業】

旧制度（推進）

申請者	北海道	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	189,180千円 (66,159千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>・世界でも注目されるアジアのIT開発拠点となる国々の高度外国人材を北海道に結集させることで、彼らの持つ高度な知識・技術を本道に結集、全道域に効果を波及させ、広域分散型の地域課題と未来技術を掛け合わせた先進的な実証事業の実施を通じて、地域の実情にあった実装を推し進め、道内全域さらなる技術・サービスの高度化といったイノベーション創出を行う北海道を目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 海外IT企業との商談機会の提供や先進技術活用によるイノベーション創出への取組、道内デジタル関連産業のための高度外国人材活用向け現地セールス等や、道内企業への同人材活用の普及啓発を実施。</p> <p>【主な経費】 ○道内におけるイノベーション機会創出 ・海外企業とのマッチング会開催等（負担金 5,300千円） ・専門知識を有するコーディネーターによるコンサルティングや道内外でのマッチングイベント（委託料 34,782千円） ○高度外国人材に向けた現地セールス・現地大学のセミナーの開催 ・現地大学等とのネットワーキング、セミナー交流会の開催（委託料 11,722千円、事務費 120千円） ・多言語（3カ国語）による北海道の仕事・生活環境のPR動画配信、現地送出機関へのPR（委託料 6,066千円） ○道内企業向け高度外国人材活用に向けた普及啓発 ・道内IT企業に対し、高度外国人材採用・定着に向けた対策や成功事例を学ぶセミナーやシンポジウム開催等（委託料 8,109千円）</p>		
KPI	<p>①地域における新規雇用者数（+36人） ②本事業により創出されたマッチング数（+18件） ③本事業により新たに外国人材の確保に向け取組を行う道内企業数（+64社）</p>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/cateory/d012/c082/s413/">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/cateory/d012/c082/s413/</a></p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【新たな戦略作物による北海道農業の持続的成長と販路拡大事業】

旧制度（推進）

申請者	北海道	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	86,063千円（28,365千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新たな戦略作物」として生産の拡大が期待されている作物の道内各地への技術の普及を図る。</li> <li>・道外での催事や外食事業者向けの産地見学会を開催し、新たな戦略作物の認知度を向上させる。</li> <li>・北海道が運営するアンテナショップと全国の大手小売店との連携により、道内事業者の道外市場への販路拡大を図る。</li> </ul>			
事業概要・ 主な経費  <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	【事業概要】 新たな戦略作物を使ったメニューフェアや意見交換会・現地見学会による認知度向上・需要拡大等に向けた取組、大手小売店との連携やどさんこプラザの活用による販路拡大等の取組を実施。 【主な経費】 ○認知度向上・需要拡大・新技術普及 ・道内外の飲食店における新戦略作物を使ったメニューフェアの開催（委託料：6,063千円、事務費：390千円） ・外食事業者を参集し、意見交換の開催（事務費：71千円） ・外食事業者向けの産地見学会の開催（事務費：218千円） ○道内事業者の販路拡大に向けたマーケティング支援強化事業 ・全国の大手小売店等と連携し、期間限定の北海道どさんこプラザのテスト出店。道内の中小・小規模事業者の商品のテスト販売（委託料：21,623千円）		 	
KPI  <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①地域における農林水産出荷額（+249億円） ②本事業により取り扱った新たな戦略作物や加工品の品目数（+270品目） ③無加温栽培技術取組農家戸数（+25戸）		関連URL  <a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/cateory/d012/c082/s413/">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/cateory/d012/c082/s413/</a>	

# 事業概要【道内食産業強靱化プロジェクト】

申請者	北海道				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	489,654千円 (163,218千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>IoT、AI等を活用したマーケティングやブランディング展開等を行うことにより、事業者の売上向上を図る。</li> <li>省人化・低コスト化による業務効率化を行うことにより、生産性を高め、経営基盤を強化する。</li> <li>環境負荷低減に関する支援を通じ、エネルギーや資源の使用量を削減することで、事業者の収益性を高める。</li> <li>農業現場における食産業事業者の研修等を通じた道産原材料の利用を促進し、持続可能な食産業の発展を目指す。</li> <li>事業者の環境に配慮した取組、地域資源の魅力を発掘することにより、国内外での競争力の強化を図る。</li> <li>GMP（適正製造基準）に対応した食の安全性向上の取組を支援することにより、道産健康食品のブランド確立を目指す。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p><b>【事業概要】</b> IoT、AIの活用等による食品製造事業者の経営基盤強化のための取組、エネルギー等使用量削減等による環境配慮や製造工程の安全性を担保する取組への支援を実施。</p> <p><b>【ソフト事業経費】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○食品製造事業者の経営基盤の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・時代の変化に対応した経営者の育成による経営力の向上 37,803千円</li> <li>・道内食品製造事業者に対する人材育成による効率的な作業の実現 31,545千円</li> </ul> </li> <li>○持続可能な食産業の構築に向けた支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮したブランドイメージの発信 35,553千円</li> <li>・食品製造工程の安全性を担保する取組 34,202千円</li> </ul> </li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	<p>金融機関や関係町の提言を踏まえ、IoT・AI等の活用による商品の高付加価値化や、IT技術等による生産性の向上により、食品製造事業者の経営基盤の強化を図る。</p> <p>食関連事業者や道内大学等の提言を踏まえ、エネルギー等使用量削減による環境配慮の取組を推進するとともに、GMPに対応した食の安全性向上の取組を支援する。</p>				<p><b>KPI</b> <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①地域における食品出荷額（+2,209億円）</li> <li>②地域における食品付加価値額（+195億円）</li> <li>③本事業に参画した事業者の従業員一人当たり売上高（+360万円）</li> <li>④本事業に参画した事業者の安全性認証の新規取得数（+3件）</li> <li>⑤本事業における環境負荷低減に係る支援件数（+15件）</li> <li>⑥本事業にて認定された商品に対するふるさと納税寄附件数（+505件）</li> </ol>

# 事業概要【商社機能を活かした地域経済活性化事業】

申請者	北海道				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	434,616千円 (144,872千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物産協会が商社機能を担うことを目指した取組を支援することにより、地域が主体となった食産業の自立的な発展を目指す。</li> <li>・地域商社と連携し、より実践的な輸出人材の育成を支援することにより、輸出事業に取り組む事業者の拡大を目指す。</li> <li>・地域商社や現地有力企業等と連携した北海道ブランドの発信により、現地でのブランド浸透・定着を目指す。</li> <li>・現地有力企業と連携した消費者ニーズや関心ターゲット層の調査を実施することにより、より効果的な販路拡大を図る。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 販路を開拓していく力を育成することにより、主体的に稼ぐ力を高めるほか、アジアを中心とした新興国への道産食品の輸出増など、本道に対する関心の高まりといった好機を確実に捉え、旺盛な海外需要を取り込むための事業を実施。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○域内連携による商社機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根づく商社機能の強化 53,036千円</li> <li>・地域商社と連携した道産品輸出ビジネスの確立 32,787千円</li> </ul> </li> <li>○商社機能を活かした販売ルートの構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地有力企業等との連携による需要創出 34,059千円</li> <li>・現地の消費者ニーズの把握 24,990千円</li> </ul> </li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	<p>大学や金融機関、関連商社等の提言を踏まえ、物産協会が商社機能を担うことを目指した取組や、地域商社と連携した中小事業者の輸出入スキルの習得支援など、地域商社と地域の連携強化を推進する。</p> <p>北海道国際流通機構等の提言を踏まえ、現地有力企業と連携した北海道ブランドの発信や、現地でのマーケティング・モニター調査による消費者ニーズの把握に取り組む。</p>				KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域における道産食品輸出額 (+90億円)</li> <li>② 本事業に参画する道内事業者の取引額 (+3,570万円)</li> <li>③ 本事業に参画する道内事業者の商談成約件数 (+45件)</li> <li>④ 本事業を通じて輸出に取り組む事業者数 (+150人)</li> </ul>

# 事業概要【北海道における持続可能な観光地づくり】

申請者	北海道					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	162,303千円 (54,101千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客向けマナーブック等を整備し、周知することで、オーバーツーリズムの影響緩和を図る。</li> <li>地元住民や観光業・宿泊業者などに対して満足度調査を行い、持続可能な観光地づくりの施策へつなげる。</li> <li>地域の二次交通課題解決に向けた事業や、持続可能な観光地づくりのための国際認証取得に向けた事業などに対する補助を通じ、世界的な観光ニーズに適合し、将来においても選ばれ続ける観光地を目指す。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p><b>【事業概要】</b> オーバーツーリズム対策やCO2削減に資する交通手段の環境整備等の取組支援などにより、地域と旅行者の双方が観光のメリットを実感できる「住んでよし、訪れてよし」の観光地づくりを目指すための事業を実施。</p> <p><b>【ソフト事業経費】</b></p> <p>○持続可能な観光地づくり推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道内各地のオーバーツーリズムの影響緩和に向け、北海道観光地域に特化した観光客向けマナーブックの作成及び周知 3,988千円</li> <li>北海道における持続可能な観光地づくりに向け、地元で受け入れる住民や観光業・宿泊業などの経営者・従業員に対する満足度調査を実施 5,113千円</li> </ul> <p>○地域観光環境整備促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域が主体的に行う業務の効率化・DX化や二次交通整備及び持続可能な観光地域づくりなどの取組を支援 45,000千円</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<p>旅行業団体、大学や労働組合などからの助言・提言によるオーバーツーリズムや二次交通等、地域の観光における課題解決の推進や、地域の経済状況の向上、観光資源の維持のための取組を促進するとともに、事業実施に当たり、旅行雑誌社などを通じて北海道観光のPRに連携して取り組む。</p>					<p><b>KPI</b></p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①総観光消費額 (+5,127億円)</li> <li>②道央圏以外の地域での宿泊者数割合 (+3%)</li> <li>③持続可能な観光地域づくりに取り組む地域（国際認証・表彰地域）数 (+4地域)</li> <li>④業務のDX化や二次交通整備及び持続可能な観光地域づくりに取り組む事業者の数 (+27者)</li> </ul>

# 事業概要【人口減少社会に対応した活力ある農村・漁村の構築】

申請者	北海道				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	545,341千円 (184,565千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 農林水産分野
目的・効果	<p>「農村漁村で仕事をする」、「農村漁村で暮らす」ための環境づくりにより、担い手の減少を「緩和」させるとともに、デジタル技術や新技術の活用による生産性の向上により、人口減少社会への「適応」を進め、人口減少下においても発展を続ける農村漁村を構築し、本道が我が国の食料供給地域としての役割を果たすとともに、地域の基幹産業として一次産業の持続的発展を実現させる。</p>					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p><b>【事業概要】</b> 担い手減少の「緩和」に向けた農村・漁村の環境づくりを推進するため、担い手の受入体制の整備やインバウンド需要を活用した販路拡大による所得向上の取組を実施。また、人口減少社会へ「適応」するため、デジタル技術や新技術の活用による生産性の向上を図る取組を実施。</p> <p><b>【ソフト事業経費】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○農村・漁村地域に人を呼び込む体制づくり</li> <li>・農村・漁村地域に魅力を感じている人への効果的な就業に繋がる方法の構築 15,846千円</li> <li>・新たな地域資源を活用した取組創出に向けた支援 1,140千円</li> <li>○北海道ファンを通じた販路拡大による生産者の所得向上</li> <li>・インバウンド需要の確保から販路拡大への産地の確立 125,193千円</li> <li>○生産性向上を通じた農業・漁業の生産基盤の強化</li> <li>・スマート技術の効果を最大限発揮できる生産方式や新技術活用方法の確立 9,906千円</li> <li>・消費者ニーズを的確に捉えた効率的生産体制の構築 32,480千円</li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	<p>市町村等と連携したセミナー等を開催し、就業環境の整備や受入体制を強化するとともに、日本食品海外プロモーションセンターや地銀等と連携し、道産農水産物の魅力発信、海外販路開拓の取組を実施。</p> <p>民間企業や大学等と連携し、スマート機器操作体験会や導入活用相談会等の新技術の普及・導入に向けた取組を通じて生産性の向上を図る。</p>				KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①北海道における農水産算出額 (+321億円)</li> <li>②輸出に取り組む道内農業協同組合数 (+6組合)</li> <li>③農業・漁業の新規就業者数 (+82人)</li> <li>④道内港からの道産水産物・水産加工品輸出額 (+99億6千万円)</li> </ul>

# 事業概要【北海道のさらなる発展を支える生活交通サービス実現事業】

申請者	北海道					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	115,035千円 (38,345千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの土台となる生活交通サービスを持続可能な形で維持・確保し、全道各地に更なるまちの賑わいを創出するため、公的支援の在り方の再整理、利便性の向上と最適化の促進に向けたデータ連携基盤の整備、外国人材・ライドシェアといった新たな取組の検証などを実施。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 生活交通サービスの在り方検討として、バス事業に係る基本方針・支援制度を検討・構築しアップデートを図るとともに、二次交通を確保するためタクシー等の身近な移動手段の維持・確保方策の基本方針や対応策を取りまとめるほか、交通DXの推進のためオープンデータ化するプラットフォームを検討・構築、運転手確保のため外国人の受入課題等を整理し横展開を図るなどして、持続可能な生活交通サービスの確保に向けた取組の促進を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活交通サービスの在り方検討 25,416千円</li> <li>・支援の在り方等の検討</li> <li>・公共ライドシェア等の複数市町村間でのモデル事業の検討</li> <li>○データ連携基盤整備 5,768千円</li> <li>・移動関連データの整理、データ連携基盤の検討</li> <li>○自動車運送業外国人材活用推進 7,161千円</li> <li>・自動車運送業における外国人材の活用に向けた検討</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<p>交通関係事業者や市町村との連携により、利用状況・収支状況等やまちづくり上の課題等を共有し、バス事業等の基本方針や支援制度を検討・構築して交通サービスのアップデートに向けた取組を推進する。</p> <p>上記主体のほか、学校・大学や金融機関、報道機関とも連携し、データ連携基盤の整備やMaaS等の活用検討・構築、各種広告などにより、公共交通の利用促進・最適化への取組を推進する。</p>					<p><b>KPI</b> ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①道内における乗合バス輸送人員（±0千人）</li> <li>②道内におけるハイヤー・タクシー輸送人員（±0千人）</li> <li>③道内における広域交通の平均収支率（±0%）</li> <li>④雇用が充足しているバス事業者の割合（+12.3%）</li> <li>⑤自家用有償旅客運送に取り組む市町村数（+3.0自治体）</li> </ul>

# 事業概要【人が輝きまちが輝く交流都市Hakodate"函光"プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	北海道函館市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	42,514千円 (9,640千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでアプローチしてこなかった中国人ミドルレンジ富裕層や欧米観光客をターゲットとしたプロモーションを展開し、本市の認知度向上および来函意欲の向上を図り、観光消費額の増加を目指す。</li> <li>観光消費による経済波及効果や地域経済循環により、他産業や市民生活にも経済的な効果が波及する好循環モデルの形成を図る。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p><b>【事業概要】</b> 中国人富裕層や欧米を対象に観光プロモーションを行うとともに、自然や食などのコンテンツPR強化を図り、さらなる観光客誘致に取り組む。</p> <p><b>【主な経費】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中国人富裕層向け旅行プロモーション事業 1,900千円 中国現地におけるBtoB、BtoCプロモーションの実施（委託料）</li> <li>アメリカ市場プロモーション事業 3,000千円 米国旅行博出展、営業活動等の実施（委託料）</li> <li>函館山夜景魅力度向上事業 500千円 ライトアップの実施（委託料）</li> <li>観光コンテンツ・食・水産物情報発信事業 食ポータルサイトによる情報発信強化（委託料） 3,740千円 水産物市場動画制作（委託料） 500千円</li> </ul> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p> </div> <div style="width: 35%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>情報発信</p> <p>おいしい函館 TASTE HAKODATE FOODS 食ポータルサイト 水産物市場動画</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><b>函館市</b> HAKODATE</p> <p>観光PR動画 (多言語対応)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>環境整備</p> <p>混雑緩和による満足度向上</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">↓ 新たなターゲットとしてプロモーション</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; gap: 10px;"> <p>アメリカ人観光客</p> <p>中国人富裕層</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p><b>観光消費額 向上</b></p> </div> </div> </div>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観光消費額（+420億円）</li> <li>②観光客数（+750千人）</li> <li>③観光客の平均宿泊数（+0.09泊）</li> <li>④食ポータルサイト「おいしい函館」の月平均閲覧数（+1,500PV/月）</li> </ul> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証)</p> <p><a href="https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2016072600039/">https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2016072600039/</a></p>

# 事業概要【持続可能な地域経済推進事業】

申請者	北海道函館市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	69,630千円 (16,866千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野 ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>・デジタル技術等の活用により市内中小企業の生産性向上を図るとともに、それら企業の変革を支える人材の育成を併せて行い地域全体のDX化を推進するほか、「函館の食」を支える調理師の技術向上やスポットワークを含めた多様な働き方の副業での活用等により人手不足の解消を図るなど、総合的に取組を進めることにより、経済面で不安のない魅力的な職場を増やすとともに住民の所得向上を目指す。</p>					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 地域企業のDX化等による生産性向上や、様々な働き方改革の推進による労働力不足解消により、魅力的な職場を増やし、持続可能な地域経済を構築する。</p> <p>【主な経費】 ○DX推進支援事業 ・専門家派遣（謝礼金）2,007千円 ○未来のIT人材育成支援事業 ・デジタルものづくり体験（委託料）4,000千円 ○産学連携推進事業 ・産学の連携強化を図るイベント開催（実施経費）310千円 ○「食の担い手」育成推進事業 ・調理師同士や生産者との交流促進イベント開催（実施経費）330千円 ○女性・高齢者等の潜在人材活躍推進事業 ・多様な働き方促進支援事業（委託料）7,928千円 ・しごとネット特設ページ開設（委託料）660千円</p>				<p>企業のDX化      人材育成      潜在人材等の活用</p> <p>生産性向上      人手不足解消</p> <p>住民の所得向上</p> <p>若者をはじめとする多くの人に選ばれる 将来にわたって持続可能な地域経済の推進を図る</p>	
地域の多様な 主体の参画	産学官等の各主体とともに地域ニーズ等を反映した事業を構築し、実施状況等の共有、協働により効果の高い発展的な取組にブラッシュアップを図る。				KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①納税義務者1人あたり課税対象所得（+247千円）</p> <p>②当該事業による新規雇用者数（+140人）</p> <p>③専門家派遣によるDX戦略策定完了数（+7件）</p> <p>④「食の担い手」育成に係るイベントに参加する調理師数（+120人）</p>

# 事業概要【新時代に飛躍する新・大雪圏域観光振興プロジェクト

旧制度（推進）

～都市と自然，仕事と遊びを繋ぐシームレスな観光地づくりの推進～

申請者	北海道旭川市ほか8自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	464,285千円 (92,965千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>○豊富な自然環境が調和しており，多くの方に訪れてもらうこと，ビジネス活用，住みやすさ，仕事のしやすさなど魅力を体感してもらい，関係人口の拡大や将来的な移住，企業誘致などにつなげることが可能となる。</p> <p>○地域に存在する魅力を広域的な大きな視点と自治体毎の細やかな視点で改めて見直し，磨き上げ，連携を図り，他地域に先駆けて取り組むことで，将来的にも持続的な魅力を有する観光地としてブランド形成に繋がる。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 本圏域が持つ都市機能と自然の調和，明瞭な四季といった様々なコンテンツを生かし，Withコロナ，Afterコロナを見据え，「稼ぐ」観光地域づくりを進めることで，本圏域に人を呼び込み，地方創生の実現を目指す。</p> <p>【主な経費】 ○大雪カムイミタラDMOが核となった新しい時代に合わせた「マウンテンシティリゾート」の推進 人件費等 33,294千円 ○各団体と連携した国内需要を中心とした新分野の需要拡大 補助金等 21,977千円 ○各自治体の地域資源を生かしたWithコロナ・Afterコロナのニーズに対応した新たな観光地づくり 補助金等 37,694千円</p>		
KPI	<p>①DMO圏域観光宿泊延数 (+2,081千泊) ②一人当たり旅行消費額 (+121千円/人) ③企業研修，ワーケーション，学術会議，教育旅行等の実施数 (+165件)</p>		<p>(交付金の具体的使途・実施体制) <a href="https://www.taisetsu-kamui.jp/">https://www.taisetsu-kamui.jp/</a> (効果検証) <a href="https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/700/735/76011/index.html">https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/700/735/76011/index.html</a> (まち・ひと・しごと創生総合戦略HP)</p>

※北海道旭川市，鷹栖町，東神楽町，比布町，愛別町，上川町，東川町，当麻町，美瑛町の広域連携事業

# 事業概要【「食の実験区，旭川」 未来の食文化を創造する街プロジェクト 旧制度（推進）】

申請者	北海道旭川市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	102,490千円 (29,030千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードフォレスト事業の取組により埋もれた素材の活用や食のバリューチェーン全体の稼働力の強化を図る。</li> <li>・クリエイターを支援するフードカリスト（触媒）の育成やクリエイティビティを刺激する体験の創出を図る。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 農家や高校料理人などと連携した朝食メニューやお土産品開発、「あさごはんイベント」の開催、素材ツアーによるフードフォレストの取組みの普及、創意工夫に富むメニュー等のチャレンジ出店の展開、国内外の多様な市場との商談機会を創出することにより、地域の食に関わるバリューチェーン全体の底上げを図る。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○旭川の食の開発・普及の推進 (委託費) 6,500千円</li> <li>○食の大型イベントにおけるチャレンジ出店の展開 (負担金) 8,000千円</li> <li>○国内外の多様な市場における商談会の開催 (負担金) 7,210千円</li> </ul>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> <li>①地域における青果物販売額 (+55百万円)</li> <li>②開発商品，サービス等の売上 (+127,000千円)</li> <li>③旅行消費額 (+21千円/人)</li> <li>④事業に参画する事業者数 (+95社)</li> </ol>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)  <a href="https://adwhokkaido.com/asaichi/">https://adwhokkaido.com/asaichi/</a>  (効果検証)  <a href="https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/700/735/76011/index.html">https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/700/735/76011/index.html</a> (まち・ひと・しごと創生総合戦略HP)</p>

# 事業概要【北のまちで若者と女性が輝くサステナブル創造都市プロジェクト】

申請者	北海道旭川市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	47,141千円 (11,323千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>■若者・女性の流出などに対応し、地域産業を支える人材の確保・育成を図るため、これまで培ってきた各関係機関との連携を更に深め、全市的かつ総合的な取組を強化することにより、地元定着と域外からの流入増の両面で、地域における人材確保力を高め、若者、女性、外国人などから選ばれ、多様な人材が生き活きと活躍する「サステナブル創造都市」を実現する。</p>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 若者、女性、そして外国人材などの産業を支える人材を確保し、地域産業の更なる発展を実現するため、高校や大学などの教育機関や、労働局やハローワーク、北海道などの関係機関等と連携し大きく分けて次の3つの支援を展開する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <p>■未来の旭川を担う若者への産業人材教育の推進と地元定着・Uターンの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旭川しごと探究フェア（高校2年生を対象にした合同企業説明会）（487千円）</li> <li>マッチング支援事業（旭川市企業情報提供サイトの改修・運営費）（3,765千円）</li> </ul> <p>■女性のスキルやキャリアをアップするための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業への支援による、はたらく女性の活躍推進事業（5,240千円）</li> </ul> <p>■地域産業に変革をもたらす多様な産業人材の確保とスキルアップ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人材の雇用促進事業（外国人雇用についての相談窓口開設）（531千円）</li> <li>技術の継承事業（木製品や窯業製品製造の人材育成）（1,300千円）</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<p>少子高齢化社会のニーズに対応し、問題解決できる広い視野を持った人材を育成し、地元で活躍できる環境を創出していく。また、その人材確保に向けては、地元企業を紹介するサイト「はたらくあさひかわ」の活用や、高等教育機関と連携し旭川しごと探究フェアの開催などによって、若者の地元就職支援を推進する。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①旭川市労働基本調査での市内企業におけるU I Jターンによる労働者の採用割合（+1.81%）</p> <p>②進路状況調査での学生就職決定者の旭川での就職率（+3.99%）</p> <p>③働く女性の相談窓口事業の登録事業者数（+35社）</p> <p>④旭川市労働基本調査での市内企業における外国人労働者の雇用割合（3.4%）</p> <p>⑤企業情報提供サイトのセッション数（+36,000回）</p>

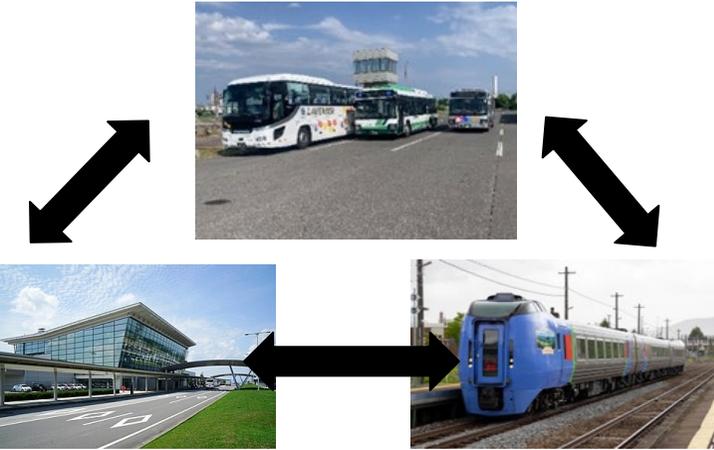
# 事業概要【クリエイティブ人材を活用した持続可能な地域モデルの構築事業】

申請者	北海道旭川市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	115,814千円 (32,814千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>旭川市が有する木工技術や農産物、観光資源などの地域特有の強みを最大限活用し、クリエイティブ人材とデザインの力で地域課題を解決し、持続可能な地域モデルの構築を目指す。</li> <li>創造拠点を整備し、リサーチやワークショップ、成果展示を通じた課題解決型プロジェクトを推進する。</li> <li>「デザインジェネレーター」を活用し、地域事業者が簡単にブランドロゴやパッケージデザインを生成できる仕組みを整備。</li> <li>ユネスコ創造都市ネットワークを活用し、他都市との連携プロジェクトを通じて新たな価値を創出する。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p><b>【事業概要】</b> 旭川市が持つ木工、農産物、観光資源などの地域特有の強みを最大限に活用し、ユネスコ創造都市ネットワークを基盤とした事例作りを通じて、地域課題解決と経済活性化を図ることを目的とする。また、クリエイティブ人材の力を地域に浸透させることで、持続可能な地域モデルを構築する。</p> <p><b>【ソフト事業経費】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○クリエイティブ拠点「創造拠点」の整備と活用 地域課題解決型プロジェクトの拠点としてリサーチ等を実施 7,400千円（事業費、外注費）</li> <li>○デザインジェネレーターの開発と活用 デザインの力を活用できるツールを提供、地域内で普及を図る 20,914千円（委託費）</li> <li>○ユネスコ創造都市ネットワークを活用した事例作り 他都市と連携したプロジェクトで成果を創出しモデル事例を創出 2,500千円（負担金）</li> <li>○観光・移住促進イベントの実施 地域資源を広く発信し、観光客や移住希望者の関心を高める 2,000千円（負担金）</li> </ul>					<p>デザインシステムの目指す未来</p> <p><b>デザイン創造都市あさひかわの未来</b></p> <p>地域の魅力が 横同士でつながり 統一感を持って伝わる</p> <p>市民の皆さまに 市役所の様々な活動が 効果的に届く</p> <p>市職員の働き方が より創造的・効率的に なる</p>	
地域の多様な 主体の参画	あさひかわ創造都市推進協議会が事業推進の中核を担い、地域企業やクリエイターとの連携、民間資金の調達、新規企画の実施などを主導します。市は制度設計や広報、政策支援を通じて事業基盤を整備し、大学や金融機関、メディア、住民とも連携しながら、地域全体で持続可能な創造的地域モデルの構築を目指します。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①若年層（15～34歳）に係る社会減（転入者数 転出者数）の減少（+149人）</li> <li>②地域資源を活用した商品・サービスの開発（+26件）</li> <li>③創造拠点の来場者（+7,500人）</li> <li>④地域課題解決型プロジェクト実施（+20件）</li> <li>⑤クリエイター参加イベント数（+47回）</li> <li>⑥共同プロジェクトの件数（+5件）</li> </ul>

# 事業概要【あさひかわ独自の文化、芸術を活かしたまちづくりプロジェクト】

申請者	北海道旭川市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	143,070千円 (51,118千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<p>・旭川市が醸成してきた貴重な文化遺産や文化資源についての魅力をさらに磨き上げ、様々なジャンルや様々な世代による文化芸術の交流を通してコラボレーション企画の取組を行うことで新たな文化体験を創出し、国内外から様々な背景を持つ人々が参加し、共生することのできるまちづくりの実現を図り、観光客が増加するだけでなく、全国や海外から多くの創造力あふれる人材が集まる市民が誇れる文化芸術都市・旭川を目指す。</p>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 旭川市が醸成してきた貴重な文化遺産や文化資源についての魅力をさらに磨き上げ、様々なジャンルや様々な世代による文化芸術の交流を通してコラボレーション企画の取組を行う。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民の主体的で多様な文化芸術活動の拠点の創出と活性化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ギャラリーの運営による文化芸術活動の場の提供 6,762千円</li> <li>・市民の文化芸術活動の経費の一部補助 1,403千円</li> </ul> </li> <li>○地域の文化資源の磨き上げと市民や観光客への普及振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人への文学資料館運営委託 7,048千円</li> <li>・美術館の彫刻展示と小中学校での出前授業等 5,045千円</li> </ul> </li> <li>○地域に根差した文化芸術産業の振興支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同会社優佳良織工場の織子養成と市民向け織体験の普及の支援 3,027千円</li> </ul> </li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市教委はボランティア養成や施設運営により文化芸術活動に携わる市民の増に取り組みながら、各種の団体へ参画を呼びかける。</li> <li>・金融機関は地元企業との関係を活かした企業協賛や広告出稿等に関する協議、同様の屋外イベントへの参画事例を活かした実施体制や会場構成等全体的な運営面への助言を行う。</li> <li>・NPO法人やボランティアなど市民団体は、文化芸術活動の担い手の立場からの事業計画へ意見を反映しながら、知人・友人を介した参加呼びかけによる芸術マルシェの市民運動としての定着化への取組を行う。</li> </ul>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観光入込客数 (+126.5万人)</li> <li>②施設等来場者数 (+6,205人)</li> <li>③優佳良織体験への参加者数 (+144人)</li> <li>④芸術マルシェ来場者数 (+1.2万人)</li> </ul>

# 事業概要【持続可能な地方公共交通体系の構築プロジェクト】

申請者	北海道旭川市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	96,810千円 (18,270千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<p>○本市は北海道のほぼ中央に位置し、道路・鉄道・航空路といった多様な交通資源存在がする交通の要衝であるとともに、医療・福祉・商業等の都市機能や、大雪山連峰をはじめとする大自然、旭山動物園等の観光資源を有する都市である。</p> <p>○公共交通は、地域における日常生活に不可欠なサービスであり、将来的な人口減少下においても維持していく必要がある。そのため、市内の公共交通の効率化のほか、利便向上や利用促進に取り組むとともに、旭川空港に国内外の航空路線を誘致することにより、インバウンドの呼び込みを図り、更なる利用増につなげることで、人口減少下においても、持続可能な公共交通ネットワークを構築する。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p><b>【事業概要】</b> 地域公共交通はコロナ以前からの外部変化の影響を受けて、利用者減・経営余力の低下・運賃、フリークエンシーの低下という負のスパイラルに陥っている。このため、利用促進等の事業を行うことで、利用者増・経営体質の改善・サービス強化、持続可能性向上という正のスパイラルに戻す事業を行っていく。</p> <p><b>【ソフト事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公共交通（バス）の維持確保や利用促進に向けた取組 3,161千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・旭川市地域公共交通会議の開催、バスの日イベントの実施、サイクル&amp;バスライド駐輪施設整備事業の実施、ダイヤ分析システム使用料、交通不便地域の解消に向けた検討、路線最適化に向けた検討</li> </ul> </li> <li>○公共交通（JR路線）の安定運行に必要なPRなどの利用促進に向けた取組 409千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの鉄道利用の喚起、公共交通の利用促進に向けた啓発、観光列車の歓迎・PR</li> </ul> </li> <li>○旭川空港の路線維持及び利用促進に向けた取組 14,700千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存路線の維持及び新規路線の確保、利用促進</li> </ul> </li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<p><b>【産】</b>事業者同士及び旭川市と連携しながら利用促進事業を実施</p> <p><b>【官】</b>交通事業者と連携しながら主体的に利用促進事業を実施</p> <p><b>【学】</b>交通事業者の再編や、利用分析について他都市の事例を踏まえ適切に助言</p> <p><b>【金】</b>地域貢献の観点から利用促進事業の実施に協力</p> <p><b>【労】</b>旭川市地域公共交通会議における事業効果の検証</p> <p><b>【言】</b>適切な事業周知</p> <p><b>【住民全般】</b>旭川市地域公共交通会議における事業効果の検証</p>					<p><b>KPI</b></p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①観光入込客数（+1,265,000人）</p> <p>②市民一人当たりの路線バスの年間利用回数（+12.0回/年）</p> <p>③空港乗降客数（+40万人）</p>

# 事業概要【オホーツクデザイン経営プロジェクト推進事業】

申請者	北海道北見市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	16,500千円 (5,500千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 働き方改革分野
目的・効果	市内のあらゆる企業が「デザイン経営」を実践し、優れた商品・サービスを継続的に開発・改良することによって、イノベーションが生まれやすい企業風土が醸成され、市場環境の変化に対し柔軟に対応できる経営基盤が構築されることにより、地域全体が活力を持ち続け、魅力ある地域社会の実現を目指す。					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】</p> <p>①デザイン経営の考え方に興味を持つ機会を提供するためのキックオフイベント ②デザイン経営の技法を学ぶワークショップ ③企業とデザイナーがペアになり事業計画を立案するスクール ④立案した事業計画を実行に移すための伴走支援 ⑤機運醸成とコミュニティの形成に向けたサミット</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <p>○デザイン経営普及・啓蒙事業（委託料）5,500千円          &lt;委託料の内訳&gt;          事業構想・計画立案経費、コーディネート業務経費（委託事業実施のための人件費相当）、イベント開催経費（外部人材招聘経費、会場費等）、広報・PR経費、プロモーション経費</p>				<p style="text-align: center;"><b>オホーツクデザイン経営プロジェクト</b></p> <p><b>Phase1</b> 普及・啓蒙のための キックオフイベントや ワークショップ</p> <p><b>Phase2</b> デザイン経営を実践する プラン策定と実行</p> <p><b>Phase3</b> デザイン経営を実践する人材の コミュニティ形成</p> <p>普及・啓蒙イベントやデザイン経営の基礎を学ぶワークショップを開催、デザイン経営の基礎を身に付ける。</p> <p>企業とデザイナーがペアを組み、デザイン経営を活用して企業のMission/Vision/Valueを、実行プランを策定、実行する。</p> <p>地域にデザイン経営の機運が醸成され、市外からも創造性豊かな若手デザイナーが多く集まり、さらなるイノベーションが生まれる。</p>	
地域の多様な 主体の参画	事業の効果を更に高めるため、デザイン経営を推進する経済産業局とも協調しながら事業を展開していく。また、商工会議所や金融機関、大学、公設試験研究機関などの支援機関とデザイナーが連携し、企業への伴走支援を行うことにより、高付加価値企業の創出につなげる。				KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①当プロジェクトのワークショップ及びスクールに参加した企業の労働生産性増加率（+3%）</p> <p>②当プロジェクトで立案した事業計画の実行により新商品・新サービスを開発した事業所数（+6事業所）</p> <p>③当プロジェクトのイベントに参加した事業所数（+69事業所）</p> <p>④当プロジェクトのイベントに参加したデザイナーの延べ人数（+36人）</p>

# 事業概要【オホーツク食材のブランド力を活用した交流人口拡大プロジェクト】

申請者	北海道北見市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	67,000千円 (25,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 観光分野
目的・効果	<p>オホーツク食材のブランド力を活かし、以下の事業を開催することで、戦略的に本市の魅力発信と誘客を促進し、交流人口拡大につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北見市のみならず、オホーツク地域の豊かな自然環境で生まれた地元の食材を使用した「食」や地ビールの提供により、国内外問わず全国各地と幅広い関係性を創出することで、地域ならではの魅力を発信する。</li> <li>市民の食文化である「焼肉」のブース設置などのイベントを行うことで、「焼肉のまち北見市」のブランド力を更に強化し、焼肉をきっかけとした集客促進と観光振興を図る。</li> <li>地域の学生を巻き込んだイベントを行い、YouTubeでの動画配信やSNSなど多様なメディアを活用して配信することで、情報発信を強化し、事業及び地域の認知度向上を図る。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 「焼肉のまち北見市」をきっかけとしてオホーツク食材のブランド力を活かしたマルシェ開催により、地域資源の磨き上げと交流人口拡大につなげる。</p> <p>【ソフト事業経費】 補助金 25,000千円 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>委託料 19,000千円</li> <li>その他運営経費 6,000千円</li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	<p>実行委員として、観光協会・商工会議所・青年会議所・地元企業に参画いただくことで、様々な観点から意見を吸い上げ、事業内容の充実及び集客促進を図る。</p> <p>市内の高校生・大学生が企画・運営するイベントを事業の一部として実施し、情報発信することで、事業及び地域の認知度向上につなげる。</p>				<p><b>KPI</b> ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①観光消費額 (+24,960千円) ②来場者数 (+38,400人) ③YouTube閲覧数 (+720回)</p>

# 事業概要【岩見沢市人と文化の交流拠点施設整備事業】

申請者	北海道岩見沢市				初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	72,000千円 (72,000千円)	
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧校舎を活用した交流拠点施設を整備することにより、芸術や文化・スポーツを背景にした、人のつながりや交流の創出、関係人口の拡大を図る。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 平成31年に廃校となった旧美流渡中学校において、芸術作品の世界観に没入できる空間演出や展示のデザイン性を高めるために、内装上の色彩感の調和や展示スペースの適正配置を行う改修に加え、地域の歴史的展示物を紹介する「インフォメーションセンター」の設置、全国に先駆けて整備を進めてきた自営光ファイバー網の活用とwifi環境の整備により、オンラインイベントやリアルタイム発信の可能な環境を整え、毎回、足を運ぶことなく、この地域の住民とのつながりを維持できる取組みを進めることで、関係人口の強化を図る。</p> <p>【拠点整備事業経費】 様々な活動をする人たちが集う交流拠点施設を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物整備 66,000千円</li> <li>・設備整備 6,000千円 (展示設営4,000千円、Wi-Fi整備2,000千円)</li> </ul>				   		
地域の多様な 主体の参画	<p>本事業で整備する新たな「人と文化の交流拠点施設」を核として、地域振興に取り組む「みとーぶプロジェクト実行委員会」や「北海道教育大学岩見沢校」、「NPO法人炭鉱の記憶推進事業団」、「岩見沢市観光協会」といった産学官民の連携による集合イベントの開催など、多様な文化の交流と人のつながりの強化の機会を創出し、関係人口の拡大による地域のコミュニティ機能の維持を図る。</p>				<p><b>KPI</b> ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①岩見沢市の転出超過数 (+50人)</li> <li>②集合イベントの市外からの参加者数 (+400人)</li> <li>③集合イベントの市内からの参加者数 (+200人)</li> <li>④施設並びに集合イベントの企画運営に参画する関連団体数 (+3団体)</li> <li>⑤集合イベント並びに関連団体の個別事業の開催回数 (+10回)</li> <li>⑥集合イベントの平均リピーター率 (+5%)</li> </ul>	

# 事業概要【網走市観光デジタルプロモーション・マーケティング事業】

旧制度（推進）

申請者	北海道網走市	初回採択回	令和6年度第1回募集												
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	91,873千円 (24,760千円)												
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野												
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「網走市デジタルファースト宣言」による「関係人口創出のデジタルファースト」の実現を図る</li> <li>・インバウンド対策のためのフェーズ1として情報発信によるデータを集積を目指し、EBPM推進を行う</li> <li>・ユーザーニーズを満たすデジタルコンテンツの新規作成、既存デジタルコンテンツのリライト・改修を実施</li> <li>・BrandLift調査・来訪計測調査により、ユーザーに対し興味関心の増加が見込めるかどうかの可視化を図る</li> </ul>														
<b>事業概要・ 主な経費</b>  ※経費内訳はR7年度事業費	<b>【事業概要】</b> ・国内は関東圏や中部圏、海外は台湾・香港を中心YouTubeやinstagramでの広告配信を実施する。また、ユーザーニーズを満たすコンテンツの新規作成、既存コンテンツのリライトやサイト改修し、併せて、縦型動画をWEBサイト上でも閲覧できるようにし、網走の魅力訴求を強化する。 <b>【主な経費】</b> ○国内向けSEO対策（WEBサイト内コンテンツの拡充）、トレンドに合った縦型動画の新規作成及びWEBサイトでの縦型動画特設ページ表示、BrandLift調査によるデジタルプロモーション ・デジタルプロモーション（委託料）9,948千円 ・デジタルマーケティング（委託料）6,793千円 ○インバウンド向けWEBサイトコンテンツの追加及びOTAサイトとのポップアップリンク表示、動画制作、広告配信 ・デジタルプロモーション（委託料）7,744千円 ・デジタルマーケティング（委託料）275千円	<table border="1"> <tr> <td>関東</td> <td>                     ・冬：「流氷カヤック」「氷瀑ツアー」などの冬はアクティビティ重視の展開。                      ・夏：「網走湖」を軸にした各カテゴリーの訴求を重点的に展開。                      ・通年：「グルメ」ジャンルのポテンシャルはまだ未知数。「オホーツク限定」などの訴求で展開するか、ショート動画での検証を行なっていく。                 </td> </tr> <tr> <td>関西</td> <td>                     ・直行便運航期間での「直行便訴求+コンテンツ」で集中的にプロモーションを展開。                 </td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>                     ・直行便運航期間での「直行便訴求+コンテンツ」で集中的にプロモーションを展開。                 </td> </tr> <tr> <td>シンガポール</td> <td>                     ・「網走監獄」三か国共通して高いため開散期に向けての配信を図る。                      ・「グルメ」と「景色」の反応は高いため、動画化しより魅力を伝えやすくする。                      ・広告クリエイティブの言語表記は英語での展開を推奨。                 </td> </tr> <tr> <td>香港</td> <td>                     ・「網走監獄」三か国共通して高いため開散期に向けての配信を図る                      ・特に「サンゴ草」への反応が高かったため、秋に集中したプロモーションも有効と考えられる。                      ・広告クリエイティブの言語表記は繁体字での展開を推奨。                 </td> </tr> <tr> <td>台湾</td> <td>                     ・「網走監獄」三か国共通して高いため開散期に向けての配信を図る                      ・冬のコンテンツはどれも反応が高いため、対応キャパシティに余裕のあるコンテンツを中心に訴求していく。                      ・広告クリエイティブの言語表記は繁体字での展開を推奨。                 </td> </tr> </table>		関東	・冬：「流氷カヤック」「氷瀑ツアー」などの冬はアクティビティ重視の展開。 ・夏：「網走湖」を軸にした各カテゴリーの訴求を重点的に展開。 ・通年：「グルメ」ジャンルのポテンシャルはまだ未知数。「オホーツク限定」などの訴求で展開するか、ショート動画での検証を行なっていく。	関西	・直行便運航期間での「直行便訴求+コンテンツ」で集中的にプロモーションを展開。	中部	・直行便運航期間での「直行便訴求+コンテンツ」で集中的にプロモーションを展開。	シンガポール	・「網走監獄」三か国共通して高いため開散期に向けての配信を図る。 ・「グルメ」と「景色」の反応は高いため、動画化しより魅力を伝えやすくする。 ・広告クリエイティブの言語表記は英語での展開を推奨。	香港	・「網走監獄」三か国共通して高いため開散期に向けての配信を図る ・特に「サンゴ草」への反応が高かったため、秋に集中したプロモーションも有効と考えられる。 ・広告クリエイティブの言語表記は繁体字での展開を推奨。	台湾	・「網走監獄」三か国共通して高いため開散期に向けての配信を図る ・冬のコンテンツはどれも反応が高いため、対応キャパシティに余裕のあるコンテンツを中心に訴求していく。 ・広告クリエイティブの言語表記は繁体字での展開を推奨。
関東	・冬：「流氷カヤック」「氷瀑ツアー」などの冬はアクティビティ重視の展開。 ・夏：「網走湖」を軸にした各カテゴリーの訴求を重点的に展開。 ・通年：「グルメ」ジャンルのポテンシャルはまだ未知数。「オホーツク限定」などの訴求で展開するか、ショート動画での検証を行なっていく。														
関西	・直行便運航期間での「直行便訴求+コンテンツ」で集中的にプロモーションを展開。														
中部	・直行便運航期間での「直行便訴求+コンテンツ」で集中的にプロモーションを展開。														
シンガポール	・「網走監獄」三か国共通して高いため開散期に向けての配信を図る。 ・「グルメ」と「景色」の反応は高いため、動画化しより魅力を伝えやすくする。 ・広告クリエイティブの言語表記は英語での展開を推奨。														
香港	・「網走監獄」三か国共通して高いため開散期に向けての配信を図る ・特に「サンゴ草」への反応が高かったため、秋に集中したプロモーションも有効と考えられる。 ・広告クリエイティブの言語表記は繁体字での展開を推奨。														
台湾	・「網走監獄」三か国共通して高いため開散期に向けての配信を図る ・冬のコンテンツはどれも反応が高いため、対応キャパシティに余裕のあるコンテンツを中心に訴求していく。 ・広告クリエイティブの言語表記は繁体字での展開を推奨。														
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+301億円） ②観光入込客数（+5,438千人） ③インバウンド宿泊客数（+116,512人） ④ランディングページエンゲージメント率（+195%）	関連URL	<b>【交付金の具体的用途】</b> <a href="https://visit-abashiri.jp/">https://visit-abashiri.jp/</a>												

# 事業概要【アウトドアヴィレッジるもい整備による観光拠点形成プロジェクト】 旧制度（推進）

申請者	北海道留萌市	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	34,645千円 (8,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>「道の駅るもい」内にアウトドア観光を進める拠点施設を整備し、アウトドア・アクティビティのメニュー開発や情報発信を行うとともに、JR留萌本線廃線後の隣接した鉄道遺産の活用を行うなど、「道の駅るもい」をアウトドア観光の核として「稼ぐ観光」へシフトし、インバウンド需要の取り込み、関係・交流人口の増加により若者に魅力ある雇用づくりや、アウトドア人材の集積などの新たな観光ビジネスの創出と、市民に幅広く還元できるまちづくりを目指す。</p>		
<b>事業概要・ 主な経費</b> <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 アウトドア体験プロモーション事業等を実施し、観光サービスによる収益モデルの確立と、運営組織化により人材養成、確保を図る。</p> <p>【主な経費】</p> <p>①アウトドアDMO（仮称）運営事業 （委託料）5,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトドア・アクティビティ商品を提供できる体制づくり</li> <li>・アウトドア・アクティビティ商品の情報発信</li> </ul> <p>②アウトドアアクティビティ人材養成グレンデ環境構築事業 （委託料）3,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他地域からのインストラクター育成グレンデとしての活用誘致</li> <li>・体験事業の誘致</li> <li>・訪日外国人に向けたアウトドア体験のプロモーション</li> <li>・グレンデとしての周辺環境の整備及び利便性向上事業</li> </ul>		
<b>KPI</b> <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①道の駅るもい入込数 (+24,739人)</p> <p>②訪日外国人宿泊客延人数 (+206人)</p> <p>③道の駅るもいから発信したアウトドア・アクティビティ体験者数 (+200人)</p> <p>④道の駅るもい内ショップ販売額 (+23,508千円)</p>	<b>関連URL</b>	<a href="https://www.e-rumoi.jp/keizai/page17_00311.html">https://www.e-rumoi.jp/keizai/page17_00311.html</a>

# 事業概要【道の駅るもいアウトドア観光拠点整備事業】

申請者	北海道留萌市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,463,927千円 (1,383,726千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>・道の駅るもい内にアウトドア観光を進める「アウトドア・アクティビティ拠点施設」を整備し、留萌管内のアウトドアや食に関する一元的な情報発信、サービス提供等行うことで、「稼ぐ観光」へシフトし、都市機能の維持やまちの活力につなげることに加え、新たな観光需要に伴う、民間投資の誘発等により、若者に魅力ある雇用づくりにつなげ、若者が誇りに思えるふるさと留萌のまちづくりを目指す。</p>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 アウトドア・アクティビティ拠点施設を整備し、気軽にアウトドアを楽しめる環境を整えることにより留萌の自然の魅力を実感してもらうとともに、ビジターセンターを整備し留萌のアウトドアの魅力を発信していく。</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○アウトドア・アクティビティ施設整備 ・建設物本體工事事業 1,292,874千円   ※電気設備・機械設備工事含む ・駐車場整備事業 39,160千円 ・粗造成工事事業 9,680千円 ・デジタルサイネージ導入事業 15,873千円 ・レンタル用パドルスポーツ用品等整備事業 2,906千円 ・ビジターセンター備品整備事業 672千円 ・予約管理システム・セルフレジ導入事業 17,248千円 ・留萌管内アウトドア観光周遊ルート調査・マップ作成事業 (委託料) 5,313千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>企業と観光協会、大学、地域おこし協力隊等と管内行政機関でアウトドア観光のプロモーション、環境整備を行う。 地元農業団体と協力し管内の食を留萌市から発信していくとともに、アウトドアと親和性の高い商品の開発を行う。</p>					<p><b>KPI</b> ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①観光消費額 (+1,021百万円) ②道の駅るもい入込数 (+141,517人) ③訪日外国人宿泊客延数 (+560人) ④道の駅るもいから発信したアウトドア・アクティビティの体験者数 (+604人)</p>

# 事業概要【(仮称) 苫小牧市周辺エリアにおける社会動向を踏まえた未来まちづくり事業】

申請者	北海道苫小牧市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	892,000千円 (256,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	次世代半導体生産工場の整備、苫小牧駅前再開発、データセンター整備、GX推進を契機として、苫小牧市の地域資源や都市構造・機能を活かした民間参入や活動をより促進させ、その活動が市民のQOL向上やWell-being等の暮らしの豊かさにつながるまちづくりを実現することで、関係人口・交流人口の増加及び市内産業の活性化による付加価値額の増加と地域内外への認知向上を図る					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p><b>【事業概要】</b> 企業誘致や実証フィールドの整備、地元企業のGX人材育成等の民間活力の創出や誘引による産業振興と、生活拠点として選ばれる都市づくりに繋がる人材育成プログラム開発等の生活環境の整備、市内波及を生む東西基幹交通をはじめとする新たな交通サービスの構築等の事業を展開する。</p> <p><b>【産業振興】</b> ・GXを軸とした人材育成、実証フィールドの調査(委託料) 40,000千円 ・新規事業創出及び人材確保支援(補助金・委託料) 56,000千円 ・プロモーションに係るコンセプト作成等(委託料) 35,000千円</p> <p><b>【都市アメニティ】</b> ・次世代人材の育成に係るカリキュラム開発(委託料) 20,000千円 ・賑わい創出に係るコンテンツ開発・実施等(委託料) 60,000千円</p> <p><b>【移動】</b> ・クラブ・部活送迎乗合タクシーの実証運行(委託料) 14,000千円 ・通勤MaaSのサービス設計及び実証での検証(委託料) 21,000千円</p>				<p>本事業の推進による将来像</p>	
地域の多様な 主体の参画	GX推進による産業振興や次世代人材の育成等に向けて、地場企業や教育機関、金融機関等が連携し、主体的に事業の計画・実行・改善を推進・展開する。民間事業者は実証や協業を通じて地域産業の発展や生活空間の質の向上を担い、金融機関等は信頼関係を活かし地域連携と事業推進を支援、本市はステークホルダーが円滑に事業推進できるよう各所の調整、環境整備を行い、事業成果を最大化する。				KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①関係人口数(+2,000人) ②観光客入込数(+30万人) ③付加価値額(+600億円) ④課題解決型プログラムを通じてスキル習得した人材数(+160人) ⑤実証したMaaSサービスの利用者数(+1.78万人) ⑥市民の都市ブランド好感度(+70%)

# 事業概要【美唄シティプロモーション推進事業】

申請者	北海道美唄市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	81,321千円(16,598千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の美唄市の言語となる美唄ブランドを市民と共同で構築し、シビックプライド醸成を図る</li> <li>・美唄ブランドを市民に広く周知し、美唄市の魅力の再発見を促し、市民の美唄市に対する愛着を高める</li> <li>・市民参加型のワークショップ等の事業を通して、市民協同のまちづくりの気運醸成を図る</li> <li>・美唄ブランドを市外に発信し、関係人口の拡大を図る。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 美唄ブランドを構築・発信し、市民の郷土愛を高めるとともに、関係人口の拡大と地域活性化を図るもの。 あわせて、デジタル技術の活用による情報発信力の強化と人材育成に寄与する。</p> <p>【主な事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民のシビックプライドを高める、美唄ブランドを構築する事業</li> <li>・美唄ブランド推進・PR・管理委託費 11,210千円</li> <li>・広報運用管理費委託費 527千円</li> <li>○美唄ブランドを市外へ発信し、関係人口の拡大</li> <li>・美唄ブランドの核となるWEBメディアの管理・運用委託費 2,282千円</li> <li>・関係人口創出プロモーション経費 2,579千円</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<p>産学金労住など多様な団体と連携し、美唄ブランドの構築と発信を推進する。</p> <p>WEBやSNS等を活用した情報発信や市民参加型ワークショップを通じ、市民の愛着を育み、関係人口の拡大と地域人材の育成を図る。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①美唄ブランド展開による美唄市の認知度向上(ふるさと美唄応援団登録者数)(+1,600人)</li> <li>②美唄ブランドのメディア掲載件数(+145件)</li> <li>③美唄ブランドロゴを活用した商品数(+65商品)</li> <li>④市民アンケートで「美唄に愛情を感じている」と答える市民の割合(+44.5%)</li> </ul>

# 事業概要【スノーアクティビティを契機としたインバウンド拡大プロジェクト】

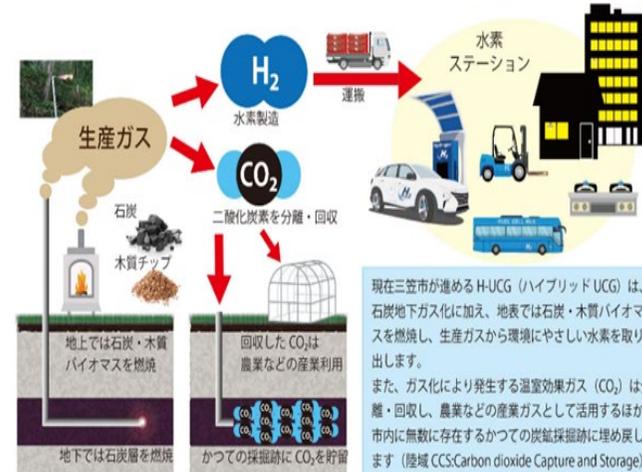
申請者	北海道美唄市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	75,957千円 (23,757千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>スノーアクティビティを中心に急増しているインバウンド客をオールシーズンで受入していくために、外国人観光客の受け入れ体制を整備し、観光資源を最大限に活用することで、市街地の賑わいを創出し、雇用を創出することを目的とする。</li> <li>本市の観光DMO「一般社団法人ステイびばい」と市が中心となって、冬のインバウンド観光を起爆剤として、観光地としての魅力を国内外に広く発信し、観光業を中心とした地域経済の活性化を図る。また、市街地の賑わいを生み出し、新たな雇用の創出に繋がる取り組みを進めることで、持続可能な経済成長を実現するための基盤を構築する。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 美唄市と観光DMO「一般社団法人ステイびばい」が連携し、スノーアクティビティを起点にインバウンド観光を強化する。 国内外への情報発信を通じて観光業を核とした地域経済の活性化と雇用創出を図り、持続可能な経済成長の基盤を構築を図る。</p> <p>【主な事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○インバウンド観光に対する市内の機運醸成</li> <li>・観光ビッグデータ、マーケティング分析、インターンシップ受入、短期滞在受入 2,250千円</li> <li>○インバウンド観光客の受入体制のづくり</li> <li>・多言語化対応事業 2,160千円</li> <li>・Wi-Fi環境整備 2,000千円</li> <li>・観光スポットまでの交通手段の確保 2,000千円</li> <li>・外国語対応人材の育成事業 8,347千円</li> <li>○海外プロモーション</li> <li>・イベント開催、トップセールス 3,000千円</li> </ul>					<p>スノーアクティビティから</p> <p>市街地の賑わい創出 ↓ 地域経済活性化 ↓ 雇用創出 ↓ 持続可能な経済成長</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>産学労など多様な団体と連携し、スノーアクティビティを軸にインバウンド客の地域内滞在を促進する。 受入体制づくりや観光動線の整備により市街地の賑わい創出を図り、地域経済の活性化と持続可能なまちづくりを推進する。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①外国人観光客の域内消費額 (+110,088千円)</li> <li>②日帰り外国人観光客数 (+18,000人)</li> <li>③外国人観光客延宿泊客数 (+2,880人)</li> <li>④インバウンドに対応した何かのサービスを行っている事業者数 (+6事業者)</li> </ul>

# 事業概要【えべつシティプロモーション高度化プロジェクト】

申請者	北海道江別市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	40,605千円 (23,565千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度からの3年間で江別市シティプロモーション強化期間とし、市職員や市民といった垣根を越えてクリエイティブな活動を進めるシティプロモーションチームを立ち上げ、市の魅力を伝えるコンテンツを数多く発信する。</li> <li>ターゲットは北海道内の子育て世代に定め、「子育てなら江別市」を直接的に訴えかけることで、住む場所を考える際に自然と本市が選択肢に上がるよう、意識付けを行う。</li> <li>また、ふるさと納税返礼品のPR強化や、体験型返礼品の新規開発なども行うことで、人口減少の状況下においても市外からの移住が増え続けるとともに、ふるさと納税先として選ばれるまちを目指す。</li> </ul>						
<b>事業概要・主な経費</b> <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p><b>【事業概要】</b> 江別市出身のタレント“ヒロ福地”氏をまちづくりアドバイザーに招聘し、市内の各種イベントにおけるPRを一層推進するほか、ラジオやテレビ等の様々な媒体を活用し、道内の子育て世代を主なターゲットとして市の情報発信を強化する。</p> <p><b>【ソフト事業経費】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○魅力発信コンテンツ制作等事業 当市の強みである子育てなどをPRする動画等の制作 ・動画、TV番組等の制作等 14,000千円</li> <li>○まちづくりアドバイザー活動事業 当市の魅力をPRする活動やふるさと納税返礼品の開発 ・活動経費 5,770千円</li> <li>○ラジオ情報発信番組制作放送事業 ラジオ番組内に情報発信コーナーを設け当市の魅力をPR ・放送、制作等 3,795千円（11か月分）</li> </ul>					<p>Instagramフォトキャンペーン▼</p>  <p>▲ふるさと納税返礼品イメージ</p> 	
地域の多様な主体の参画	<p>当市の魅力を発信するコンテンツ制作及びラジオ番組に新設する本市情報コーナーにおいて、市内各企業・団体や大学などで構成する江別シティプロモート推進協議会をはじめとする多様な主体が参加、出演する。</p> <p>江別市出身のタレント“ヒロ福地”氏にまちづくりアドバイザーに就任いただき、市内イベント等の魅力向上や、メディアを活用した効果的な情報発信を図る。</p>					<p><b>KPI</b>  <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①本取組による移住者数（+102人）</li> <li>②移住定住に関する相談件数（+43件）</li> <li>③ふるさと納税者数（+1,585人）</li> <li>④移住ポータルサイトの閲覧数（+22,127回）</li> </ul>

# 事業概要【歴史的建造物を活用した賑わい創出事業】

申請者	北海道江別市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	179,645千円 (41,000千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>嘗て、舟運と鉄道の結節点として栄えた江別駅周辺の歴史を物語る旧岡田住宅を改築し、旧岡田倉庫と一体的に活用することで、歴史・文化の発信拠点にするとともに、地域観光・まちづくりの拠点と位置づけ、周辺の観光資源などを巻き込んだ新たな人の流れを創出する。</li> <li>本施設の整備により、歴史性を活かしたコンテンツとして中心的役割を担い、観光入込客数の増加が期待できる。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 JR江別駅周辺の歴史を物語る「旧岡田住宅」の改築工事（1年目）を実施する。 改築にあたっては、建物の意匠に考慮するとともに一部の部材は再利用することで、街並みや歴史性を活かした施設とする。</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○既存建築物の解体 41,000千円</p>					 <p>外観（東棟）</p>  <p>外観（東棟）</p>  <p>外観（西棟）</p>  <p>玄関ホール、縁側（東棟）</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>本施設の管理運営は、プロポーザルにより選定された事業者が行い、周辺の店舗、施設などとの連携による周遊促進を図る。 当該地域住民やNPO法人により、本施設周辺で行われている既存のイベント等との連携により、更なる地域活性化を図る。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①本施設の来場者数（+22,200人）</li> <li>②JR江別駅の乗降客数（+3,000人）</li> <li>③本施設における新規雇用者数（+13人）</li> <li>④施設一帯におけるイベント開催数（+20回）</li> </ul>

申請者	北海道三笠市	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4～R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	434,000千円 (100,000千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源である石炭および木質バイオマスを活用した低炭素水素製造に係る産業創出を図る</li> <li>・水素製造の過程で発生するCO2の有効利用とこれに係る産業創出を図る</li> <li>・脱炭素まちづくりに向けて、資源やエネルギーの循環による三笠モデルの構築を図る</li> </ul>			
事業概要・ 主な経費	<p>○事業概要 CO2排出量実質ゼロとなる水素製造の実現による新たな産業と雇用創出に向けて、地下ガス化の水素製造過程で発生するCO2を地下に固定する技術を確認する。また、CO2を石炭採掘跡に圧入する一連の実証技術を脱炭素社会の実現に寄与する取り組みとして、市民・事業者等に対して普及啓発活動を行う。</p> <p>○雇用創出 ・石炭や木質等バイオマスを活用したエネルギーを製造し地域住民や公共施設に水素エネルギー等を供給する一連の実証実験を開始し、CO2排出量実質ゼロとなる水素製造に向けた課題抽出や水素エネルギー普及の促進を図る。当該年度は、砂川火力発電所への石炭供給が終了し、露天掘り事業者の生産が停止する年であることから、商用ベースの石炭・木質等バイオマスの利用設備や各種プラント建設などを進めることで、雇用の維持および創出、エネルギーの安定供給体制の整備を進める。</p> <p>95,000千円（委託料）</p> <p>○普及啓発 ・事業成果のPR（委託料）5,000千円</p>		 <p>現在三笠市が進めるH-UCG（ハイブリッドUCG）は、石炭地下ガス化に加え、地表では石炭・木質バイオマスを燃焼し、生産ガスから環境にやさしい水素を取り出します。また、ガス化により発生する温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）は分離・回収し、農業などの産業ガスとして活用するほか、市内に無数に存在するかつての炭鉱採掘跡に埋め戻します（陸域CCS:Carbon dioxide Capture and Storage）。</p>	
KPI	<ol style="list-style-type: none"> <li>①事業参画する企業の数（+57件）</li> <li>②脱炭素に向けた普及啓発事例の数（+15件）</li> <li>③普及啓発事業の参加者数（+1,250人）</li> <li>④事業推進に伴う定住人口の数（+30人）</li> </ol>		関連URL	<a href="https://www.city.mikasa.hokkaido.jp/">https://www.city.mikasa.hokkaido.jp/</a>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【三笠市郷土文化魅力創出・発信事業】

旧制度（推進）

申請者	北海道三笠市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	65,049千円（14,420千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海盆唄発祥の地としての特色を生かし北海盆おどりを題材としたドラマを制作および宣伝・上映を行い郷土文化の振興を図る。</li> <li>・北海盆おどり並びに三笠市自体にも興味を持っていただき、地方への人の流れを創出を図る。</li> <li>・郷土文化保存につながるように若い世代にも情報発信及び普及促進を図る。</li> <li>・地域が一丸となってフィルムコミッション的活動に取り組み、外部へのPRのみならず、地元の魅力の発見・再認識の機会を自らで創出し、シビックプライドの醸成を図る。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○事業概要 北海盆唄発祥の地として北海盆おどりを題材としたドラマを活用し、市民の郷土文化に対する機運醸成を図るとともに地域の活性化を目指す。</p> <p>○宣伝に要する経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロケ地巡りMAPの増刷及び追加の宣伝の実施（委託料） 400千円</li> <li>○郷土文化の普及啓発に向けたイベント「三笠北海盆おどり」の開催（補助金）15,000千円 （使用料）20千円</li> </ul> <p>「三笠北海盆おどり」において、ドラマ撮影・放映の影響を活用したキャスト等による宣伝や盆おどり内で行うアトラクションを交えた事業実施を行い、イベント集客並びに市全体の興味・関心の増加を図る。</p>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域へのUIターン数（+0.3%）</li> <li>②三笠北海盆おどり入込客数（+600人）</li> <li>③ロケ地巡りMAPの頒布数（+7,000部）</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.city.mikasa.hokkaido.jp/">https://www.city.mikasa.hokkaido.jp/</a></p>

# 事業概要【三笠版DMOの持続的発展のための「三笠周遊」観光地域づくり事業】

申請者	北海道三笠市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	272,500千円 (72,500千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 観光分野
目的・効果	<p>・北海道内では特に超高齢化・過疎化が進む中、地域内すべての「観光事業」を集約化することで、地域ならではの価値や魅力を十分に活かした新たな取り組み・高付加価値化を図る。</p>					
<b>事業概要・ 主な経費</b> <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>○事業概要 超高齢化・過疎化が進む中、地域内すべての「観光事業」を集約化することで、地域ならではの価値や魅力を十分に活かした新たな取り組み・高付加価値化を図ることを目的とし、地域資源の見直しと再発見・再利用による新たな活動を行うことで、集客数増加を図る。 【ソフト事業経費】</p> <p>○DMO推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型商談会への参加（出展料、旅費、広告費等） 1,000千円</li> <li>・SNSを活用した観光情報、イベント情報の発信を行う。 （イベント情報・観光情報の発信委託料） 1,500千円</li> <li>・観光マーケティングを引き続き実施する。（観光動態のマーケティング委託） 5,000千円</li> <li>・市民、事業者の機運醸成を図るためのセミナーを開催する。 （セミナー開催費、機運醸成イベントの開催） 6,500千円</li> <li>・観光専門の職員を配置する。 （一般社団法人北海道三笠観光協会スタッフ分の補助） 6,500千円</li> <li>・各種イベントの開催（市内で実施される観光イベントの補助金） 10,000千円</li> <li>・環境に配慮した新たな水資源を活用したサステナブル型ツーリズムの実施（資材購入） 2,000千円</li> <li>・新桂沢ダムを活用したアクティビティ実施に係るキックオフイベントの開催 2,000千円</li> <li>・イベント時の酷暑対策のための設備導入費 1,000千円</li> </ul> <p>○ジオパーク推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジオサイトの維持管理 5,000千円</li> <li>・ジオパーク推進協議会の活動費用負担金 25,000千円</li> </ul> <p>○特産品開発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の事業者と連携し新たな特産品開発に向けた実証作業及び販売 2,000千円</li> </ul> <p>【ハード事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○DMO推進事業・施設整備 5,000千円</li> </ul>					
地域の多様な主体の参画	<p>公益財団法人はまなす財団・空知信用金庫・北海道新聞社・北海道空知総合振興局・三笠市商工会・三笠市農業団体協議会・三笠市連合町内会連絡協議会・連合北海道三笠地区連合会・三笠市婦人団体協議会・三笠市商工会女性部・三笠市社会福祉協議会・三笠市医師会・一般社団法人北海道三笠観光協会・みかさ特産品協会・三笠市スポーツ協会・三笠市文化協会・三笠建設協会・市民公募・三笠市議会</p>				<b>KPI</b> <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における観光消費額 (+570百万円)</li> <li>②ツアー商品等参加者数 (+750人)</li> <li>③三笠ファンクラブ数 (+450人)</li> <li>④「三笠版DMO」でコーディネート業務等に取り組む専門人材数 (+1人)</li> <li>⑤三笠高校卒業生が、飲食店等の開業や観光地域づくりに取り組む人数 (+1件)</li> </ul>

# 事業概要【「みかさ果樹団地（仮称）」整備プロジェクト事業】

申請者	北海道三笠市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	200,000千円 (10,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>梅園の再生による地域活性化を目指した「梅園の再生」と、ぶどう・りんご圃場 + 醸造用設備を備えた「ワインファーム」から成る「みかさ果樹団地（仮称）」を造成するため、中核となる事業者を誘致し、人材確保、移住、起業など多岐にわたるシナジー効果の発揮に繋げることを目的とする。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 梅園の再生による地域活性化を目指した「梅園の再生」と、ぶどう・りんご圃場 + 醸造用設備を備えた「ワインファーム」から成る「みかさ果樹団地（仮称）」を造成するため、中核となる事業者を誘致し、人材確保、移住、起業など多岐にわたるシナジー効果の発揮に繋げることを目的に、事業を進めていく。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○「みかさ果樹団地（仮称）」整備プロジェクト実施に向けた取組み ・プロジェクト委員会の設置、全体計画策定、報告会の開催（委託料）</p> <p style="text-align: right;">3,000千円</p> <p>委託料の内容：委員会委員報酬・費用弁償 10人×@100千円×10回 = 1,000千円</p> <p style="text-align: right;">1,000千円</p> <p>グランドデザイン作成（打合せ費用、成果物納品等） 1,000千円 報告会開催経費(会場使用料、告知経費、報告書作成費等) 1,000千円</p> <p>・梅園現状把握調査 (現樹木の状況確認、早期に剪定すべき箇所は剪定実施、収穫量等)（委託料） 委託料の内容：現樹木の状況確認（本数、樹木の状態（枝、実なり等）、早急に剪定すべき箇所は剪定実施、収穫量の把握等）</p> <p style="text-align: right;">7,000千円</p>					 	
地域の多様な 主体の参画	<p>ワインを核とした地域振興に向けて、既存ワイナリーからのアドバイスのほか、市内農業団体や今年新たに設立された空知ワイン協会、空知総合振興局ワイン室等、地域内での連携と6次産業化を促進していく。</p> <p>また、観光協会等とワインにとどまらない特産品開発に取り組むほか、持続可能な就農モデル確立に向け、大学教授等からの先進技術導入のアドバイスや、メディアを通じたSNS活用、広報宣伝活動に取組んでいく。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①年間農業産出額（+70百万円）</li> <li>②農業従事者数（+10人）</li> <li>③果樹団地に入居する農業従事者数（+10人）</li> </ul>

# 事業概要【サステナブルなbonchi powderシティプロジェクト～住んでよし、訪れてよしのまちづくり】

申請者	北海道富良野市				初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	154,644千円 (60,534千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 まちづくり
目的・効果	<p>・富良野盆地が生み出す良質なパウダースノーを“bonchi powder”としてブランディング、誘客につなげる。くわえて、市民の親雪、利雪の機会を増やし、気候変動に対し、ゼロカーボンシティ運動にまちあげて取り組み、シビックプライドの醸成と、取組へ共感する人との交流／定住の拡大へつなげ、経済の循環と、働き手の確保、雪国の生活文化の継承を図り、持続可能かつ「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」のスノーリゾート都市をめざす。</p>					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 持続可能な観光地域づくりを進める中で、住んでよし、訪れてよし、働いてよしのまちづくりを展開し、富良野盆地のパウダースノーの特長エビデンスを活かしたプロモーションに加え、サステナブルな認知を広げるプロモーションを首都圏、海外へ向け展開する。</p> <p>【bonchi powderのブランディングと誘客拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パウダースノーの強みの定量化へ向けた調査 990千円</li> <li>・冬期間の親雪・利雪イベントの実施 5,200千円</li> <li>・各種媒体を活用したプロモーション 17,098千円</li> </ul> <p>【アイデンティティの確立、シビックプライドの醸成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パウダースノーの特徴に関するエビデンスの共有 1,500千円</li> <li>・こどものスキー教育推進事業 8,284千円</li> <li>・地元スキー人口の増加に寄与する取組 8,260千円</li> </ul> <p>【持続可能な観光地域／ゼロカーボンシティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き手の確保及び移住定住の促進 16,755千円</li> <li>・持続可能な観光地づくりの推進 1,348千円</li> <li>・ゼロカーボンシティ実現に向けた取組 1,099千円</li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	<p>行政が事業の全体調整と地域内連携を促進する中で、大学が雪質のブランディングのための雪質定量化について、学術的見地から事業に携わる。スキーリゾートが実際の来訪者の受け入れ、おもてなし窓口としてお客様の生の声を集約し、プロジェクトの事業遂行に反映していく。</p>				<p><b>KPI</b> ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①冬期間（12月-3月）のプリンスリゾートエリアの入込客数（+700,500人） ②この事業を通じて移住・定住した生産年齢人口（+113人） ③市民環境意識調査の「地球温暖化防止のための取組」について「重要である」と回答した割合（+14.3%） ④インスタグラムfurano bonchi powderアカウントのフォロワー数（+20,550人）</p>

# 事業概要【地域DMO設立による「地域の稼ぐ力」創出事業】

申請者	北海道富良野市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	379,622千円 (28,960千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不足する来訪者データを取得し、マーケティングに基づく年間平準化した誘客を目指していく</li> <li>・新たに設立する地域DMOがデータに基づく戦略展開を行い、国内外来訪者からなる国際観光都市の実現を目指す</li> <li>・事業者や次世代人材の確保・育成を後押しすることで、来訪者の受入環境を整備する</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 DMO形成の準備を進め、年度内に設立をし、旅行者動向調査などを行い、戦略策定に向けたデータを整備する。また、多様な価値観に触れる機会創出に資する教育支援を行う。</p> <p>【データ整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行者動向データ調査及びデータ分析 22,000千円</li> <li>・観光顧客データ利活用の取り組み 2,772千円</li> </ul> <p>【観光をマネジメントする組織（司令塔）による持続可能な観光地づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DMO設立に向けた協議体への参画 500千円</li> </ul> <p>【インバウンド対応整備、人材育成による受入環境整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受入対応、受入環境支援整備 2,250千円</li> <li>・人材育成への取り組み 1,438千円</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	DMOが統計データ、市内観光事業者及び観光客が求めるニーズから戦略を策定し、事業を推進していくために官が事業の全体調整とサポートを行い、金融協会等が経営面でのアドバイスなどを行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観光消費額 (+4,500円)</li> <li>②インバウンド宿泊延べ数 (+6,000泊)</li> <li>③地域DMOが関わる旅行商品企画の売り上げ (+1,400千円)</li> <li>④インバウンド再来訪意向 (+15%)</li> </ul>

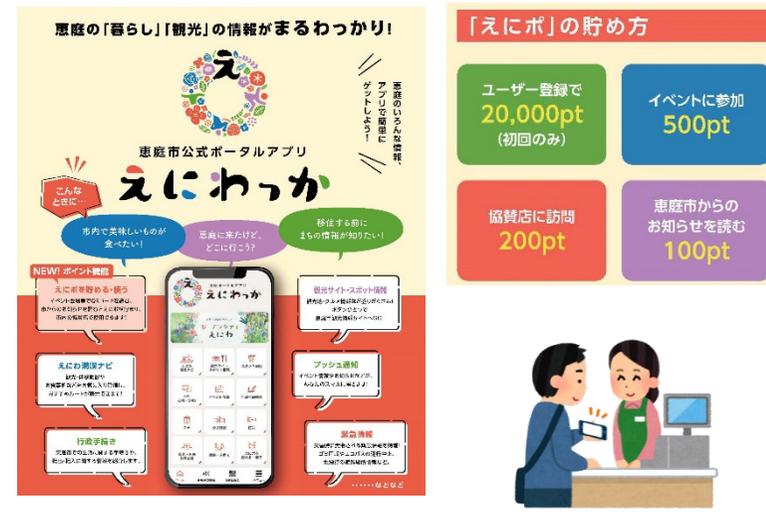
# 事業概要【登別市観光産業高付加価値化事業】

旧制度（推進）

申請者	北海道登別市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	21,400千円（4,400千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深刻化する人手不足の現状において、より少ない人員、より高い付加価値を生み出していくために「SDGs」や「ウェルネス」的な観点を含め、雇用のあり方や働き方、デジタル化・DXによる労働生産性の向上を図る。</li> <li>・人手不足の解消を図るためには、賃金を向上させ、離職率を低下させていく取り組みを実施する。</li> <li>・観光需要エリアの平準化を図るため、外国人観光客や道外からの誘客促進に取り組む。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客を創造するマーケティングと戦略策定（委託料） 3,300千円</li> </ul> <p>データを根拠にターゲット顧客を明確にした誘客促進事業とひとりあたり観光消費額の最大化を目指す。サステナブルな観光地域づくり戦略に向けた提言（ビジョン）の策定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誘客促進事業（委託料）1,100千円</li> </ul> <p>観光ビジョンで定めたターゲットに対して、トップセールスやファミトリップの実施や旅行博への参加など、集中的な誘客宣伝を行う。</p>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①登別市における観光消費額（+11,190千円）</li> <li>②宿泊単価の増加率（+1.5%）</li> <li>③観光客入込数（+3,183千人）</li> <li>④国内宿泊客数の道外客の割合（+4.2%）</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.city.noboribetsu.lg.jp/">https://www.city.noboribetsu.lg.jp/</a></p>

# 事業概要【新ガーデンデザインプロジェクト推進事業】

旧制度（推進）

申請者	北海道恵庭市	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カック内はR7年度事業費)	143,098千円（24,420千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光、市民生活、経済、まちづくりに関する分野の施策をつなげ、一体的な施策展開による相乗効果を図る。</li> <li>異なる施策を共通で使用できるアプリ「えにわか」を開発する。</li> <li>市外の人と市民の交流促進、市民には愛着心（ふるさとの誇り）の向上を図る</li> <li>観光客だけでなく市民にも市内周遊してもらうことにより経済活動の活性化を図る。</li> </ul>			
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 分野の異なる施策において、共通で使用できるアプリを開発し、多くの市民や市外の人々が活用することにより、①観光に関する施策、②市民生活に関する施策、③経済に関する施策、④まちづくりに関する施策の4つの異なる分野の施策をつなげ、一体的な施策展開を進めることにより相乗効果を引き出す。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あらゆる世代の市民、市内企業・店舗が利用しやすくなるアプリを開発する。7,912千円</li> <li>地場産品を活用した商品や観光素材の開発。ホーストレッキングなど新しい観光イベントの実施。恵庭の特徴を活かした「暮らしの提案」や「ブランド化」などシティセールスを実施する。9,691千円</li> <li>歩くことを通した健康づくりや市内循環による地域経済活性化。デジタルを活用した参加者がいつでもだれでも参加しやすいサイクルイベントを開催する。2,566千円</li> <li>移住定住希望者への支援として移住フェアやオーダーメイドツアー等を実施する。4,251千円</li> </ul>			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①アプリへの登録者数（+3,800人）</li> <li>②アプリへの参加事業所数（+110箇所）</li> <li>③花の拠点「はなふる」利用者数（+96,794人）</li> <li>④関係人口の増加（+82,439人）</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/kikakushinkoubu/kikakuka/shinokakushukeiku/1/senryaku_vision/12585.html">https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/kikakushinkoubu/kikakuka/shinokakushukeiku/1/senryaku_vision/12585.html</a></p>	

※経費内訳はR7年度事業費

※カック内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【柏陽地区複合施設整備事業】

申請者	北海道恵庭市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,975,926千円 (28,017千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	✓
事業分野					まちづくり分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地区に子どもが集まることができる施設が無いことや、高齢者人口割合が高く、地区中心部への公共施設集約が望まれていることから、複合施設整備によりコンパクトシティの推進と地域交流の場の提供を図る。</li> <li>・機能維持を主眼とした施設統廃合の推進を図り、長期的視点をもって将来の財政負担の軽減・平準化のための公共施設の適正配置を実現する。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 老朽化した市営住宅建替集約により発生した余剰地に複合施設を整備する。また、本施設と一体的な公園整備や周辺の道路拡幅事業等を実施する。</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○柏陽地区複合施設整備費 ・施設設計（2か年中1年目） 23,606千円 ・外構設計（2か年中1年目） 156千円 ・駐車場設計（2か年中1年目） 1,237千円</p> <p>【インフラ整備事業経費】 ○柏陽地区複合施設敷地内の公園整備 ・公園設計（2か年中1年目） 3,018千円</p>					
地域の多様な 主体の参画	<p>民間事業者において、設計・整備・維持管理・運営を一括実施し、効率的な事業推進を図る。また、運営にあたっては、指定管理者によるイベント開催や、町内会や市内外団体の活動を通じ利用者増加等につなげるとともに、各団体と連携し利用者目線の意見を吸い上げ事業内容に反映する。</p>				<p><b>KPI</b> ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①柏陽地区の人口増加 (+296人) ②施設集約前後の利用者数 (+4,838人) ③市民意識調査による柏陽地区のこれからも住み続けたいと感じた人の割合 (+1.5%)</p>

# 事業概要【石狩PRIDE（愛着×誇り×幸せな暮らし） 向上プロジェクト】 旧制度（推進）

申請者	北海道石狩市	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	141,532千円 (22,960千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野	
目的（効果）	<p>・住民が地域の活動を容易に知ることができる環境をつくり、地域コミュニティへの関わりを通じて生まれた、人のつながりによる街への愛着を醸成する</p> <p>・地域資源を活かした街の自慢となる特色を作り、住民の街への誇りや愛着を醸成するとともに、街に賑わいをつくり、住民の定着や新たな居住者の誘導を目指す</p>			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p><b>【事業概要】</b> 街の歴史・文化・スポーツ・自然に触れる講座を開催し、様々な地域活動への支援を通じて街への愛着を醸成する。また、農水産物や観光資源などの街の魅力を一体的に発信し、街への誇りを高める。</p> <p><b>【主な経費】</b></p> <p>○人のつながりが街の愛着につながるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講座開催経費（講師謝金、会場費等）2,320千円</li> <li>発表の場確保事業（補助金、会場費等）3,200千円</li> <li>スポーツ交流イベント開催（講師謝金等）1,600千円</li> </ul> <p>○街の魅力が街の誇りとなるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルコンテンツ作成（委託料）7,000千円</li> <li>イベント開催経費（委託料、広告料等）3,300千円</li> <li>特色づくり事業（負担金、補助金等）4,540千円</li> <li>パンフレット作成（委託料）1,000千円</li> </ul>			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 転出者数の抑制（+125人）</li> <li>② 文化・スポーツ事業の参加者数（+1,250人）</li> <li>③ 石狩市に住み続けたいと感じる市民の割合（+25.0%）</li> <li>④ デジタルコンテンツアクセス数（+400,000件）</li> </ol>		関連URL	<a href="https://www.city.ishikari.hokkaido.jp/shisei/shiseiunei/1001914/1003646.html">https://www.city.ishikari.hokkaido.jp/shisei/shiseiunei/1001914/1003646.html</a>

# 事業概要【石狩さけの子プロジェクト】

申請者	北海道石狩市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	245,178千円 (81,726千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30代～40代のファミリー層の転入増により、その子どもたちが更におとなになったときに、石狩市に住み続ける好循環を生む。</li> <li>・様々な事情で石狩を離れることになっても、もう一度戻ってくる場所として魅力を伝えられる。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 若者が住み続けたいと思える魅力的なまちづくりを進めることを目的として、地域産業への支援、持続可能な交通・医療体制の構築、子育て支援の充実につながる事業を実施する。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○若者が将来にわたり石狩市に住み続けられる安心感醸成に関わる事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業のPRや事業継続支援（負担金、委託料） 650千円</li> <li>・持続可能な交通体系や医療体制の構築（負担金等） 60,600千円</li> <li>・安全な生活のためのセミナー、啓発活動（委託料等） 700千円</li> </ul> <p>○安心して子育てができる環境整備に関わる事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの権利に関する事業（報償費、需用費等） 1,776千円</li> <li>・園による保育士確保への支援（負担金） 18,000千円</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<p>石狩商工会議所に総合戦略推進懇話会に参画してもらい、各事業への提言を受けるほか、市内事業者への施策の周知や意見聴取を行う。</p> <p>石狩振興局に市の各懇話会に参画してもらい、先行事例等の共有など、知見を活かした提言を受ける。</p> <p>市内小中学校、高等学校の児童生徒から、市の取組みに対する意見を取りまとめ、改善策を検討する。</p>					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①当該年度内で30歳～49歳を迎える人の社会増（+30人）</li> <li>②市内認定子ども園・保育所等の利用定員（+20人）</li> <li>③「石狩市が子育てしやすい環境だ」と思う人の割合（+10.5%）</li> </ul>

# 事業概要【トマト共同選別施設の整備に伴う地域拠点整備事業】

申請者	北海道北斗市				初回採択回	令和7年度第1回募集								
事業計画期間	R7-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,618,779千円 (69,297千円)								
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野 農林水産分野								
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北斗市の基幹作物の1つであるトマトの共同選別施設を増築し、指定管理を行う予定の新函館農業協同組合圏内のトマト集約拠点とする計画。長期間のリレー出荷を強みに産地優位での取引が可能となり、トマト生産者の農業所得向上につなげることを目指す。</li> <li>・選別施設内の経験値を要した作業を機械化することで、作業に従事するハードルが下がり、今までよりも就労しやすい環境となることから、農業就業人口の増加を目指す。</li> </ul>													
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】            トマトの共同選別施設を増築し、新函館農業協同組合が管理する集出荷拠点として、長期間のリレー出荷を可能とする体制を構築。最先端の高性能機械を導入することにより選別作業の省力化と均一化を図り、安定した取引と所得向上、就業環境の改善を進める。</p> <p>【拠点整備事業経費】</p> <table border="0"> <tr> <td>○トマト共同選別施設の整備</td> <td>69,297千円</td> </tr> <tr> <td>（・トマト共同選別施設地質調査委託料</td> <td>10,406千円</td> </tr> <tr> <td>・トマト共同選別施設新築工事実施設計委託料</td> <td>57,794千円</td> </tr> <tr> <td>・建築確認申請等手数料</td> <td>1,097千円</td> </tr> </table>					○トマト共同選別施設の整備	69,297千円	（・トマト共同選別施設地質調査委託料	10,406千円	・トマト共同選別施設新築工事実施設計委託料	57,794千円	・建築確認申請等手数料	1,097千円	
○トマト共同選別施設の整備	69,297千円													
（・トマト共同選別施設地質調査委託料	10,406千円													
・トマト共同選別施設新築工事実施設計委託料	57,794千円													
・建築確認申請等手数料	1,097千円													
地域の多様な 主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の見学コーナーを通じて、地域の子どもや住民がトマトに親しみを持てる場を提供。地元企業と連携し、トマトを活かした商品開発で地域ブランドを育てながら、農業の魅力と広がり地域全体で創出していく。</li> </ul>			<p><b>KPI</b>            ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①トマト生産農業者の平均農業所得（+25.2万円）</li> <li>②農業就業人口の増加（+100名）</li> <li>③野菜の年間取扱高増加（+2.63億円）</li> <li>④契約に基づく安定的な出荷先増加（+14箇所）</li> </ul>									

※経費内訳はR7年度事業費

# 事業概要【廃校を活用した地域活性化交流拠点施設整備事業】

申請者	北海道知内町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	766,500千円 (751,500千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的(効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃校となる小学校を町立知内高等学校に町外から通学する生徒用の宿舍として活用し、地元定着に向けた就労体験等を通じて、将来の新規就労者や地元定着率が高まり、人口減少の抑制に寄与することが期待される。</li> <li>・スポーツ合宿としても施設利用を図ることで、更なる交流人口の拡大が期待される。</li> <li>・高齢化率50%を超える限界集落地区の新たな拠点施設として活用することで、多様な人材の流入や地域の活性化、災害時等の避難施設として活用が期待される。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 限界集落地区の廃校となる小学校を町立知内高等学校に町外から通学する生徒用の宿舍として活用するとともに、スポーツ合宿の拠点施設としても宿泊型練習施設として有効活用を図る。</p> <p>【拠点整備事業経費】 施設整備 665,000千円 備品整備 73,000千円 外構整備 7,000千円</p> <p>【ソフト事業経費】 ・地域みらい留学の登録料 2,100千円 ・首都圏等でのPR費用 4,400千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の就労者不足の解消や地域産業の維持発展に向け、行政・学校・各産業団体が連携を図り高校生の地元定着率促進を図る。</li> <li>・自治会等とのコミュニティーを形成し、限界集落地域の活性化を図るとともに、新たな人材の流れを呼び込み人口減少抑制を図る。</li> </ul>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①この施設を通じた移住定住の延べ人数 (+12人)</li> <li>②施設利用者の延べ人数 (+24,180人)</li> <li>③合宿の誘致数 (+42団体)</li> <li>④高校の満足度 (+23%)</li> </ul>

# 事業概要【地域活性化拠点施設（仮称）道の駅「北の江の島」整備事業】

申請者	北海道江差町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,981,381千円 (142,673千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>・幕末に江差沖で座礁・沈没した開陽丸を再現した「開陽丸記念館」の管理棟を新たに「道の駅」機能をもった拠点施設として再整備し、物販施設での地場産品の提供やカフェコーナーなどの整備により、若者や子育て世代にとって魅力ある空間づくりと子育て世代のニーズに対応した天候に左右されない屋内遊具施設を備えた拠点施設による地域の活性化と観光交流人口の拡大を図る。</p>						
<b>事業概要・ 主な経費</b> <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】            新たな道の駅の整備にあたっては、民間の創意工夫を最大限引き出すため、施設の設計・施工から維持管理・運営までを事業者が一体的に実施するDBO方式を導入して進めることとしている。            地元の農産物・水産物等を活用した新商品や飲食メニューの開発等による産業の高付加価値化や天候に関わらず子どもたちがのびのびと遊ぶことができる空間の整備より、地域の活性化を目指す。また、町内や広域的な観光情報の発信による周辺地域の誘客向上を図る。</p> <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設整備等（設備整備・用地造成等を除く）の内容              【建築実施設計】 建築実施設計費 32,804千円</li> <li>○設備整備・用地造成等の内容              【既存施設除却解体工事】              実施設計費 9,941千円、解体工事費 99,928千円</li> </ul>						
<b>地域の多様な 主体の参画</b>	<p>・当該施設に隣接するかもめ島周辺の魅力発信、地域と文化の交流の実現に向けて、地域振興の方策や地域素材の活用の方針について、観光事業者等との意見交換を行い、交流人口や関係人口の拡大や地元特産品等を活用した集客性の高い取り組みを促進する。</p> <p>・海洋ゼミ「(仮称)新・海の幸メニュー開発」などの開催により、学生等との共同により、地元水産物を活用した商品開発に取り組む。</p>					<b>KPI</b> <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①観光消費額（+568.64百万円） ②道の駅の年間利用者数（+228千人） ③道の駅の年間売上高（+193.8百万円） ④観光入込客数（+308千人）

# 事業概要【旧湯ノ岱小学校を活用した「サテライトオフィスを持ったワイナリー」による産業活性化及び交流人口等拡大事業】

旧制度（推進）

申請者	北海道上ノ国町	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	105,743千円（15,906千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産ワインによる関係人口、交流人口拡大及び移住定住の促進を図る。</li> <li>・醸造用ぶどう栽培やワイン醸造の情報発信による新規就農者や醸造家の移住定住の促進を図る。</li> <li>・六次産業化による特産品開発を進め、所得向上を図り、産業の活性化、地域経済の発展を目指す。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 町のワイン産業を振興させる農商工連携と人材誘致や情報発信を一体的に推進することで、サテライトオフィス事業の利用者増により収益をあげながら、特産ワインの消費拡大による所得の向上と雇用の場の確保、関係人口及び交流人口の拡大を図り、移住・定住の促進を図るとともに産業の活性化や地域経済の発展を目指す。</p> <p>【主な経費】 ○上ノ国町ワインブランド化事業 9,438千円 ・ワイン広域PRのためのイベント参加、地元特産品を活用したワインに合う商品開発等 ○「サテライトオフィスを持ったワイナリー」情報発信事業 1,760千円 ・ゲスト講師によるワイン教室を開催し、歴史、文化、特産品なども含めた有数のテロワール化を図るための情報発信等 ○「サテライトオフィスを持ったワイナリー」着地型観光造成事業 4,708千円 ・ワイン教室スタイルの学習、研修ツーリズムの造成等</p>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> <li>①上ノ国町産ワインの販売額（+1億円）</li> <li>②事業を通じた葡萄農家就業者数（+10人）</li> <li>③サテライトオフィス利用者数（述べ日数）（+4,250人）</li> <li>④事業を通じた小規模農家・醸造家の移住者数（+5人）</li> </ol>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.town.kaminokuni.lg.jp/">https://www.town.kaminokuni.lg.jp/</a></p>

# 事業概要

【次の100年を創造する地域の家族と繋がりをつくる「保育園留学」～既存資源のシェアリングによるワーケーション促進・超長期的関係人口創出～】

旧制度（推進）

申請者	北海道厚沢部町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	194,343千円 (24,615千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>・「認定こども園」「移住体験住宅」「ワーケーション」「ふるさと体験」をパッケージ化した親子ワーケーションプログラムである「保育園留学」をワンストップで提供する。</p> <p>・超長期的な関係人口創出のため、ワーケーション受入対象世帯の拡大や企業での利用促進（福利厚生等の利用）を前提としたアプローチを通じて事業の拡大を図る。</p> <p>・持続した関係人口の構築と新規利用者獲得のため、オンライン・オフラインでのふるさと体験により持続した関係人口の構築とPRを実施する。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 保育園留学をワンストップ窓口にて、ポータルサイトへの情報掲載・事前相談・問合せ対応、SNSによりPRするほか、未来へ持続可能なものとするため、生活支援策等を検討しつつ保育園留学体験事業を実施する。また、公営塾と連携し、中学生を対象とした地域魅力化事業を展開し中学生を持つ親のワーケーションを促進する。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募集ポータルサイト管理運用（委託料）11,660千円</li> <li>・ポータルサイト運用業務（委託料）1,320千円</li> <li>・企業連携サポート事業（委託料）2,508千円</li> <li>・保育園留学SNS管理運用業務（委託料）2,772千円</li> <li>・会議開催費に係る費用（需用費）30千円（旅費）30千円（報償費）100千円</li> <li>・事務費、運営費（旅費）50千円（需用費）30千円（役務費）50千円</li> <li>・人材育成事業費（旅費）300千円</li> <li>・地域魅力化事業（委託料）530千円</li> </ul>		
KPI	<p>①ワーケーション利用延日数（年間）（+940日）</p> <p>②保育園留学実施による経済流入額（年額）（+25,400千円）</p> <p>③事業実施による関係人口の累計数（年度末実人数）（+840人）</p> <p>④福利厚生等でのワーケーション利用企業数（年間）（+7社）</p>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.town.assabu.lg.jp/">https://www.town.assabu.lg.jp/</a></p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【食と自然を体験する観光推進・発信事業～観光施設の機能強化による経済活性化～】

旧制度（推進）

申請者	北海道厚沢部町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カック内はR7年度事業費)	166,392千円（38,623千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の観光資源の魅力を向上させることで、観光を通じた農業振興及び地域活性化を図る</li> <li>・自然と一体となったアクティビティを創出し、道外・国外からの旅行客の体験型観光の需要に対応する</li> <li>・メークイン発祥から100年を迎えることを契機としたイベントや商品開発を実施し、農作物の販路拡大を実現する</li> <li>・農業体験を付加した観光を提供することで、新たなニーズを創出し、観光客獲得に向けた取組を推進する</li> </ul>		
<b>事業概要・ 主な経費</b>  <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 官民連携の協議会が事業推進主体となり各団体間の連携を図り、観光振興事業を効率的に実施する。観光資源の魅力向上にあたり経営アドバイザーの活用やイベントを開催するほか、オートキャンプ場におけるアクティビティを創出し、観光に付加価値を与え利用者の拡大を図る。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢現プロジェクト実行委員会補助金 33,406千円</li> <li>・観光資源魅力向上事業 5,217千円</li> </ul>		
<b>KPI</b>  <small>※カック内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における観光消費額（+36,560千円）</li> <li>②観光施設の収支改善額（+10,000千円）</li> <li>③入込客数：年間（+7,176人）</li> <li>④新規雇用数（+3件）</li> </ul>		<b>関連URL</b>  <a href="https://www.town.assabu.lg.jp/">https://www.town.assabu.lg.jp/</a>

# 事業概要【持続可能な地域生活拠点整備事業～過疎地域のコンビニ多機能化～】

旧制度（推進）

申請者	北海道厚沢部町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	19,942千円（6,040千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニ多機能化に対応する人員の配置により、新規雇用による定住人数を獲得する</li> <li>・宅配サービスを展開することで、買物難民の解消及び高齢者の見守り体制を構築する</li> <li>・再生可能エネルギーの活用により電気料金を削減、安定した経営を継続しながら、地域防災拠点としての機能を拡充する</li> <li>・町の健康づくり事業で付与するポイントをコンビニで活用できる体制を構築し、町民の健康増進を図る</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 宅配と見守り体制が連動した体制づくりに向けた実証実験を実施する。また、整備したコンビニを防災拠点として活用するため防災用品等を整備するほか、持続的な経営に取り組むため、人材育成を行う。また、地域生活拠点の充実強化のため、未活用スペースをコミュニティスペースとして活用し、地域住民の交流の場を創出する。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宅配体制構築実証実験業務委託料 3,520千円</li> <li>・地域生活拠点整備協議会補助 2,520千円</li> </ul>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> <li>①地域の人口・世帯数（+3人）</li> <li>②販売額（年平均：年間）（+7,000万円）</li> <li>③宅配サービスの利用回数（年間）（+450回）</li> <li>④脱炭素を通じた経費削減（年間）（+1,000千円）</li> </ol>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.town.assabu.lg.jp/">https://www.town.assabu.lg.jp/</a></p>

# 事業概要【子育て家族に向けたやわらかな定住・二地域居住促進事業】

申請者	北海道厚沢部町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	169,423千円 (59,817千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外の子育て家族の子どもをこども園で受け入れるプログラムを開発するとともに、受け入れに必要な外国語対応人材や生活サポートを行う地域コーディネーターを募集・育成し、移住・二地域居住の拡大を図る。</li> <li>脱炭素先行地域づくりと連携し、EVによるカーシェアリング事業や脱炭素教育プログラムの開発・体験を行うことで、脱炭素に取り組む町の魅力を伝え、移住促進を図る。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】</p> <p>海外未就学児のこども園受入体制を構築するほか、多世代異文化交流の場となる公園に遊具を整備する。また、脱炭素先行地域づくりと連携し、脱炭素計画及び移住情報等のPRを行う。大学と連携した脱炭素教育プログラムの開発やEVカーシェアリング事業を二地域居住者や一時滞在者へ展開するための実証実験、地域新電力会社が契約を締結した顧客へ付与するポイント制度の構築を行う。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム開発委託料 3,630千円</li> <li>・募集ポータルサイト管理運用委託料 3,850千円</li> <li>・外国語対応人材募集及び人材育成委託料 2,420千円</li> <li>・地域コーディネーター募集及び人材育成委託料 1,650千円</li> <li>・移住者向け生活サポート委託料 1,452千円</li> <li>・脱炭素×移住促進PR委託料 2,530千円</li> <li>・大学等との連携プログラム開発及び実証委託料 2,750千円</li> <li>・脱炭素×移住促進地域ポイント制度構築委託料 19,000千円</li> <li>・多世代異文化交流公園遊具購入費 9,675千円</li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	海外未就学児の受け入れにあたっては、受け入れるこども園のほか、観光アクティビティを開発する観光協会等と連携し、関係人口の増加に取り組む。また、大学等と連携し、脱炭素の行動促進にかかる教育プログラムを構築する。				KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①移住者数（二地域居住含む）（+48人）</li> <li>②滞在延世帯数（年間）（+100世帯）</li> <li>③滞在延日数（年間）（+3,000日）</li> <li>④地域への経済効果（年間）（+30,000千円）</li> <li>⑤事業実施による雇用数（年間）（+5人）</li> </ul>

# 事業概要【「農産物×子育て」の魅力化で集う道の駅あさぶエリア再編整備事業】

申請者	北海道厚沢部町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,188,883千円 (150,403千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅物産館を改築し、農産物等販売面積及び駐車場を拡大するとともに、チャレンジショップ開設（テナント）及び休憩スペース拡充により観光消費額の増加を図る。</li> <li>道の駅にキッズコーナー、デジタルアミューズメントコーナー、屋外イベントスペースを新設し魅力化を図るとともに、子育て世代の冬期間の遊び場を確保することにより、道の駅の来客数増加を図る。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 道の駅エリア活性化協議会を設置し、エリア整備及び改築後のイベント開催・キッズスペース開設等、多様な意見を集約し、新たな道の駅物産館を整備する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協議会運営経費（補助金）1,041千円</li> <li>技術職雇用経費（報酬等）5,771千円</li> </ul> <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建築物整備 100,903千円</li> <li>設備整備 42,688千円</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	町の顔となる道の駅物産館の改築にあたっては、産業関係者はもちろんのこと、住民代表や学生、町外出身者の目線からは地域おこし協力隊や二地域居住代表者など、幅広く提言をいただき反映させる。					<p><b>KPI</b> ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の観光消費額（+68,000千円）</li> <li>②旅先納税額の増（+7,000千円）</li> <li>③道の駅エリアイベント新規開催による集客数（年間）（2,300人）</li> <li>④道の駅物産館における就業者の増（+7人）</li> </ul>

# 事業概要【林業 6 次産業化による持続可能な循環型地域づくり事業】

申請者	北海道今金町					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	49,940千円 (24,970千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の貴重な資源である森林に着目し、林業 6 次産業化を起点として持続可能な循環型地域づくりを行う。</li> <li>帰郷者や移住者に魅力的な林業や木材産業での就労先を提供するとともに、森林・木材産業の売上拡大を実現し、もりづくりからまちづくり、ひとづくりにつなげ、循環型地域を目指す。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 今金町が有している森林資源を有効的に活用し、将来持続可能な「循環型地域づくり」を確立するため“林業 6 次産業化”を進める。また、地域商社の立ち上げをきっかけに、域内で林業と木材産業が魅力的に捉えられ、もりづくりを観点にヒト・モノ・コトが動く循環型地域を目指す。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○林業6次産業化による持続可能な循環型地域づくり推進事業</li> <li>・地域商社設立準備 9,140千円</li> <li>・新たな森林経営・森林管理方法の検討 6,130千円</li> <li>・地域材や自然フィールドを用いた商品開発・販路開拓検討 4,200千円</li> <li>・森づくりに関連する、人づくり、まちづくりの検討業務 4,000千円</li> <li>・地域での林業6次産業化に向けた検討会議体の発足・運営 1,500千円</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<p>林業6次産業化事業を受託する株式会社トビムシ・行政・学校・地域金融機関・林業及び木材産業従事者・地域活性化団体・地域に住む住民を交えて、将来の地域商社設立・運営に向けて合意形成と共通理解を確立し、広大な森林環境の活用と促進を図る。そして、地域全体で林業の6次産業化に係る持続的な利活用に取り組む。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①林業・木材関連事業への新規就業者数（副業人材を含む）（+2人）</li> <li>②本事業に伴う移住者数（+3人）</li> <li>③町内の森林整備面積（+3ha）</li> <li>④本事業に伴う町産木材の使用量（+7m<sup>3</sup>）</li> <li>⑤本事業に伴う新規の森林整備面積（+1ha）</li> <li>⑥各種プログラム・イベントへの参加人数（+70人）</li> </ul>

# 事業概要【『共感』がつなぐ多様な連携による持続可能なまちづくり推進事業】 旧制度（推進）

申請者	北海道ニセコ町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	130,815千円（32,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• まちづくり会社を中心とした多様な連携の推進体制の構築</li> <li>• 環境を基軸とした多様な連携モデル事業の展開</li> <li>• 連携創発をうむ『共感』形成に向けた「住民参加」と「情報共有」の実践</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 「環境モデル都市」や「SDGs未来都市」の取組など、ニセコ町がこれまで取り組んできたまちづくりに対し、町民に加え、町外のニセコファン・ふるさと住民や企業からいただいている『共感』について、モデル・先導となる環境を中心とした多様な連携事業の積み重ね・発信によりその価値を高め、さらなる『共感』による多様な連携が自発的に創発され、好循環に結び付けることを目指す。これにより環境・経済・社会の三側面など様々なまちづくりの分野で相乗効果を発揮し、地域の持続可能性を高めることを目的とする。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 多様な連携の推進体制の運用、効果検証（委託料） 6,100千円</li> <li>• 環境を基軸とした多様な連携のモデルとなる取組の展開・効果検証、連携事業に向けた普及促進等（委託料） 25,900千円</li> </ul>		<p style="text-align: center;">ニセコハートラボは、 まちづくりに関するパートナーを募集します。</p> <p style="text-align: center;">3つの関わり方</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>オフィシャル パートナー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>寄付</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>人材派遣</p> </div> </div> <p style="font-size: small;">その他に、ニセコ町とだけの連携にとどまらず、町内企業とはもちろん、ニセコ町とつながりの深い企業や団体同士での交流や連携の機会も多く増えていくことも見据えています。ニセコ町がきっかけで、さらなる企業や団体間での交流が深まっていくことは、私たちが目指す一つの姿でもあります。</p>
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①企業等とのパートナーシップ登録件数（+21件）</li> <li>②企業版ふるさと納税の件数（+30件）</li> <li>③ふるさと住民制度の登録人数（+110人）</li> <li>④ニセコ町の総人口（+365人）</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.town.niseko.lg.jp/chousei/jichi_saisei/">https://www.town.niseko.lg.jp/chousei/jichi_saisei/</a></p>

# 事業概要【持続可能な「ニセコ共生循環の森林づくり」を実現する地域商社推進事業】

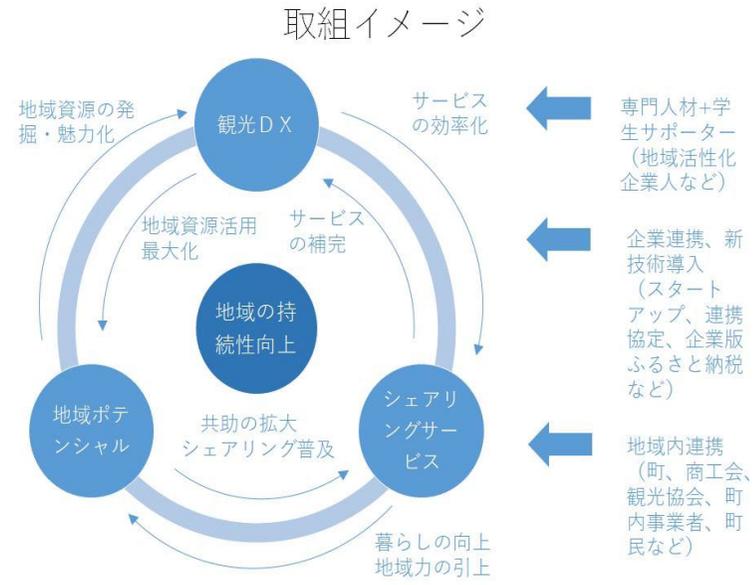
旧制度（推進）

申請者	北海道ニセコ町	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	104,250千円（20,000千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官民連携による林務体制の再構築</li> <li>・ニセコモデルの森林整備機能・交流型木材加工施設（遊休施設利活用）の試験運用</li> <li>・町産材製品のマーケティング、循環の始動、関係人口創出を見据えた体験プログラムの開発</li> <li>・林業・木材加工従事者の人材確保・育成など</li> </ul>			
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>木材中心の域内調達率・循環率の向上を目的とした事業を推進する地域商社を設立し、「ニセコ共生循環の森林づくり」を目指し、これを実現する中核組織として町民や関係者とともに推進していく。</p> <p>森林空間の価値向上・体験の創出など、森林を身近に感じてもらえる取組をアプローチし、未整備森林を多く抱える森林管理、依然として低いニセコ町産木材の供給体制を整えつつ、町産材製品の開発・拡販、体験プログラムを通じた関係・共感人口の創出を図る。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域商社事業・官民連携による持続可能な森林経営の運営及び拡充検討、地域商社事業による町産材拡販、林業・木材加工業に関連する多様な人材育成の拡充（委託料）20,000千円</li> </ul>			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①本事業に関連した林業関係の新規就業者数（+7人）</li> <li>②ニセコ町産材（原木）使用量（+450m<sup>3</sup>）</li> <li>③本事業による新規商品開発数（+7件）</li> <li>④地域の森林資源を利用した体験・交流プログラムの参加人数（+160人）</li> </ul>		<p>関連URL</p> <p><a href="https://www.town.niseko.lg.jp/c/hosei/jichi_saisei/">https://www.town.niseko.lg.jp/c/hosei/jichi_saisei/</a></p>	
※経費内訳はR7年度事業費				

# 事業概要【産業DX × シェアリング × 地域ポテンシャルによる持続する地域づくりニセコモデル構築事業】

旧制度（推進）

申請者	北海道ニセコ町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	239,422千円 (84,981千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・観光業を中心とした産業DXの推進 ・シェアリングサービスの積極的活用 ・地域ポテンシャルの引き上げ ・上記3つの取組による地域の持続性向上		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】観光業を中心・牽引役として町産業全体の活性化・稼ぐ力の強化を図り、その効果・恩恵を地域に還元し再投資していくことで、ニセコ町で働くこと、暮らすことの魅力を向上させ、安定した雇用や人口を確保しその質を高め、さらなる産業振興につなげるという好循環を構築させ、持続する地域の実現を目指す。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観光業をフックに地域産業のデジタル化を推進する。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルマップの活用（補助）4,000千円</li> <li>・エッジAIカメラの活用（委託料等）3,608千円</li> </ul> </li> <li>○シェアリングサービスを導入し、地域で不足する交通・人材を補完する。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・カーシェアリング（使用料等）4,087千円</li> <li>・タクシーシェア（負担金）14,222千円</li> <li>・人材、雇用等シェア（補助金）13,000千円</li> </ul> </li> <li>○地域資源の発掘磨き上げを行い、観光地としての魅力向上を図る。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源開発・商品化、観光拠点機能強化（委託料）18,280千円</li> </ul> </li> </ul>		
KPI	①地域における観光消費額（+37.5億円） ②商工会会員数（+9会員） ③カーシェアリングサービス利用件数（+400件） ④ふるさと納税件数（+450件）	関連URL	<a href="https://www.town.niseko.lg.jp/chousei/jichi_saisei/">https://www.town.niseko.lg.jp/chousei/jichi_saisei/</a>



# 事業概要【「若者×地域魅力化」交流拠点施設整備事業】

申請者	北海道ニセコ町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,380,000千円 (1,342,419千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野 地方への人の流れ分野
目的・効果	ニセコ町立北海道ニセコ高等学校の学生等の移住を受け入れ、地域住民や地元企業など、あらゆる世代のステークホルダーが交流でき、シナジー効果を生み出すミックスコミュニティ拠点を整備し、地域全体で若者を応援・育成していくことで、域内の就業機会の創出や世代交代の促進を図り、若者層のシビックプライド醸成と人口流出の抑制、更には地域の持続的な魅力化発展につなげていく。					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>若者の移住体験を受け入れるとともに、若者同士や地域との交流を充実させ、ニセコ高校の放課後起業クラブや校内留学施設と連携しながら、アントレプレナーシップを持つグローバルなキャリア形成を支援していく。</p> <p>施設性能については、ニセコ町の厳しい気候条件に適応でき、かつトータルランニングコストも配慮した高断熱・高気密の住性能を確保する。また、人・性別など様々な属性から扉の利用制限ができる入退室管理・監視システムを導入するなど、セキュリティ面も配慮した施設整備とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物整備 1,227,855千円</li> <li>・設備整備・外構整備 50,988千円</li> <li>・備品整備 63,576千円</li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	<p>施設管理者・町・町教育委員会及び大学と連携をとり、運営・調整やサテライトキャンパスの創設に取り組む。</p> <p>地域おこし協力隊にイベントを開催してもらい、施設の入寮者増加等につなげるとともに、入寮者からの意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。</p>				<p><b>KPI</b></p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①域内起業・就職件数 (+100件)</li> <li>②若者(10代~30代)の移住者数 (+65人)</li> <li>③施設入寮者数 (+310人)</li> <li>④ニセコ高校入学人数 (+300人)</li> <li>⑤Stars UP(放課後起業クラブ)加入者数 (+100人)</li> <li>⑥サテライトキャンパス利用者数 (+10人)</li> </ul>

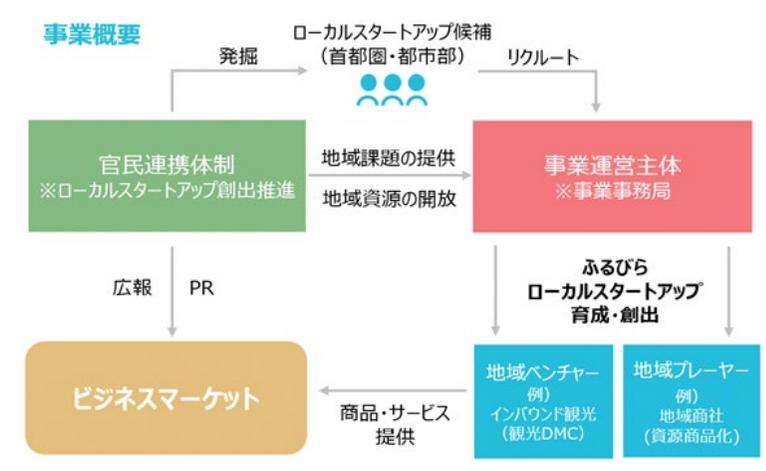
<p>申請者</p>	<p>北海道倶知安町</p>	<p>初回採択回</p>	<p>令和4年度第1回募集</p>
<p>事業計画期間</p>	<p>R4-R8年度</p>	<p>期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)</p>	<p>72,011千円 (14,920千円)</p>
<p>事業タイプ・類型</p>	<p>地方創生推進タイプ・横展開型</p>	<p>事業分野</p>	<p>観光分野</p>
<p>目的・効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閑散期の底上げによる観光の平準化</li> <li>・受入環境良化のための交流・広場空間機能整備</li> <li>・コミュニティ機能強化のためのエリアマネジメント</li> <li>・観光DXに対応したリゾート形成（スマートリゾート化）</li> </ul>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要や主な経費】</p> <p>①シンボル空間形成に係る事業（委託料）12,120千円（当該委託費23,650千円のうち）</p> <p>(ア)基本計画の公表 関係機関等の意見聴取、地域ミーティング、基本計画公表</p> <p>(イ)第2駐車場土地活用に係る事業者公募開始 公募資料等の作成、事業者公募、（選定はR8年度）</p> <p>(ウ)新ウエルカムセンターに係る事業者公募 公募資料等の作成、提案上限価格の算出、実施方針等の公表、事業者選定委員会の運営</p> <p>②ICT/IoTを活用したエリアマネジメントに係る環境整備（補助金）2,800千円 データ収集プラットフォームや先予約システムなどの観光DXに対応したシステムを活用した事業のPRと戦略化</p> <div data-bbox="1239 625 2034 1170"> <p>ゾーンA ●観光交流・交通拠点 複合施設 ・多目的交流空間 ・観光案内所 ・地域情報コーナー ・キッズアクティビティ ・物販・飲食施設 ・リゾート連携施設 ・医療施設 ・バス・タクシー・乗降場 ・送迎車両乗降場 など ●イベント広場</p> <p>ゾーンB ●賑わい形成する民間施設</p> <p>ゾーンC ●立体駐車場 ●賑わい形成する民間施設</p> <p>ゾーンD ●平面駐車場</p> <p>ゾーンE ●立体駐車場</p> <p>住民ミーティング開催状況</p> <p>並行して進む地域 美化事業 (スマートゴミ箱)</p> </div>		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①旅先納税額およびふるさと納税を活用したクラウドファンディング額 (+17,000千円)</p> <p>②エリアマネジメント活動参加者数 (+94人)</p> <p>③エリア整備・マネジメントに係る住民ミーティング参加者数 (+51人)</p> <p>④観光客繁閑差率 (+0.15)</p> <p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証) <a href="https://www.town.kutchan.hokkaido.jp/town_administration/chihouseisei/">https://www.town.kutchan.hokkaido.jp/town_administration/chihouseisei/</a></p>		

# 事業概要【共和町道の駅施設整備事業】

申請者	北海道共和町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,987,781千円 (695,723千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>•物販、産直、レストラン、温浴施設、屋内遊戯施設、キャンプ場等の複合的な機能をもった道の駅を整備し、交流人口を拡大させることにより、観光消費額の増加を図る。</li> <li>•多機能な施設として、道の駅は地域の核となり、観光や農業振興、雇用創出、デジタル社会の形成など、幅広い面で地域活性化に貢献する。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p><b>【事業概要】</b> 地域のにぎわい創出と多様な利用ニーズに対応するため、物販、産直、レストラン、温浴施設、屋内遊戯施設、キャンプ場など、複数の機能を一体的に備えた道の駅の整備を行う。</p> <p><b>【拠点整備事業経費】</b> 物販エリア、飲食エリア、屋内遊戯施設、温浴施設、事務所、受付エリア</p> <p>•建設工事費（建築主体・電気設備・機械設備） 695,723千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>管理運営を担う予定事業者が収益性の確保や観光コンテンツの充実に取り組み、自治体は広域観光の推進や地域間連携の強化を目指す。加えて、次世代人材の育成を目的とした学習活動を通じて教育機関が参画し、多様な意見やニーズを事業に反映させるため、地域住民から意見等を聴取し、見直しや改善を図るなど、産官学民が相互に連携し、地域の多様な主体が参画する持続可能な運営体制の構築を目指す。</p>					<p><b>KPI</b> <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①共和町の観光消費額（+323,500千円）</li> <li>②共和町の観光客数（+314,900人）</li> <li>③道の駅の利用者数（+300,000人）</li> <li>④道の駅の売上高（+315,600千円）</li> </ul>

# 事業概要【古平町ローカルスタートアップ創出・育成事業】

旧制度（推進）

申請者	北海道古平町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	51,000千円（17,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強い産業づくりを担う人材や事業者を持続的に生み出し、産業と雇用の創出を実現し移住定住者の増加を図る。</li> <li>・経済を回していけるようなローカルスタートアップやその候補人材を発掘・育成する基盤を構築し、継続的にローカルスタートアップ等を創出・輩出する流れをつくる。</li> <li>・継続的にローカルスタートアップを創出することで循環型の地域経済が機能する持続可能な町を目指す。</li> </ul>		
<b>事業概要・ 主な経費</b> <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p><b>【事業概要】</b> 古平町の将来を見据え、強い産業づくりを担うローカルスタートアップを生み出し続けるために官民連携の事業推進体制を構築し、誰もが地域を創造するようなビジネスにチャレンジできる環境を整備するとともに、ローカルスタートアップ候補の発掘から育成まで一貫した支援を行う。</p> <p><b>【主な経費】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①官民連携による事業推進(委託):3,300千円 ・事業推進体の運営、充実</li> <li>②エリアを広げての首都圏人材の発掘・獲得(委託):5,890千円 ・首都圏他、都市部にエリアを広げてのリクルートやスカウト、人材発掘 ・ターゲットを絞った戦略による広報展開</li> <li>③ローカルスタートアップ候補育成実施(委託):2,640千円 ・基礎知識習得プログラム(OFF-JT型)の実施、拡充 ・ビジネス構想づくりプログラム(OJT型)の設計・拡充</li> <li>④ローカルスタートアップ立ち上げ支援(委託):1,452千円 ・ビジネスプラン設計の伴走支援 ・ビジネスプランを磨き上げる伴走支援 ・事業立ち上げ支援</li> <li>⑤事業推進事務局(委託):3,718千円 ・事務局運営</li> </ol>		
			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①地域へのUIターン数（+120人）</li> <li>②古平町の経済を牽引し、持続的な発展を担うローカルスタートアップ数（+9人）</li> <li>③町の経済を牽引し、持続的な発展を担うローカルスタートアップ候補となる人材数（+27人）</li> <li>④ローカルスタートアップ候補となる首都圏・都市部のポテンシャル人材の獲得数（+50人）</li> </ol>		
	関連URL	<a href="https://www.town.furubira.lg.jp/">https://www.town.furubira.lg.jp/</a>	

申請者	北海道余市町	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	172,468千円 (60,059千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少下においても、将来に渡って持続可能な一次産業の基盤を強化し高品質かつ安定的な食資源の供給を図る</li> <li>食と酒と文化を有機的に一体のストーリーとして連動させ、豊富な食資源のPRを図る</li> <li>食環境を整備・提供により美食を求める来訪者を呼び込み、唯一無二のガストロノミー産地を確立する</li> </ul>			
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】 食と酒と文化を有機的に一体のストーリーとして連動させ、豊富な食資源のPRを図るとともに、ワインや食環境の高品質化・高付加価値化に向けた支援と観光客の受け入れ態勢整備を通じた「ガストロノミーツーリズム」の展開を図る。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○食資源生産力の強化に係る事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・農水産資源の生産力強化に要する経費（補助金、委託料） 17,700千円</li> </ul> </li> <li>○食文化形成のための広報PR事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部人材を活用したシティプロモーション（報償費、広告料等） 8,850千円</li> </ul> </li> <li>○旅行客の受け入れ環境整備事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド等を対象としたガストロノミーツーリズムツアー商品の開発やプロモーションの実施のための推進体制の構築（補助金） 10,000千円</li> </ul> </li> </ul>			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における観光消費額（+184.3億円）</li> <li>②年間宿泊者客数（+80,900人）</li> <li>③ふるさと納税寄附件数（+126,792件）</li> </ul> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)</p> <p><a href="https://yoichi-kankoukyoukai.com/">https://yoichi-kankoukyoukai.com/</a> (効果検証)</p> <p><a href="https://www.town.yoichi.hokkaido.jp/chousei/jouhou/machihitoshigoto/index.html">https://www.town.yoichi.hokkaido.jp/chousei/jouhou/machihitoshigoto/index.html</a></p>	

# 事業概要【赤井川村の強い産業づくりを担う中核プレイヤー発掘・育成・ステップアップ支援事業】

旧制度（推進）

申請者	北海道赤井川村	初回採択回	令和5年度第1回募集						
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	58,640千円（14,991千円）						
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>力強い産業と雇用の場をつくる地域プレイヤーを発掘・育成・輩出する</li> <li>地域資源を活用したビジネスにチャレンジできるインキュベーション環境を整備する</li> <li>継続的に地域プレイヤーを育成・輩出し続けられるエコシステムを構築する</li> </ul>								
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 首都圏や都市部から人材が村の地域資源や地域課題を活用したビジネスにチャレンジできる環境（育成基盤並びにインキュベーション拠点）を整備し、地域の中核を担う多様なプレイヤーを創出。中核プレイヤーを継続的に育成・輩出し続けるエコシステムの構築により、人づくり、仕事づくりの好循環を実現する。</p> <p>【主な経費】</p> <table border="0"> <tr> <td>①民間主導による事業推進へのシフト 民間主導体制への移行作業等 委託業務…5,157千円</td> <td>④域内外のプレイヤー同士の交流支援 ビジネス交流、マッチング等のコミュニティ形成 委託業務…1,650千円</td> </tr> <tr> <td>②首都圏人材の発掘・獲得 人材リクルート、人材募集PR 委託業務…4,554千円</td> <td>⑤中核プレイヤーを創出し続けられるエコシステム構築 道外類似プレイヤーとの事業展開推進等 委託業務…990千円</td> </tr> <tr> <td>③まちづくりを担うプレイヤー候補の伴走 育成支援 個別伴走、育成プログラムの実施 委託業務…2,640千円</td> <td></td> </tr> </table>			①民間主導による事業推進へのシフト 民間主導体制への移行作業等 委託業務…5,157千円	④域内外のプレイヤー同士の交流支援 ビジネス交流、マッチング等のコミュニティ形成 委託業務…1,650千円	②首都圏人材の発掘・獲得 人材リクルート、人材募集PR 委託業務…4,554千円	⑤中核プレイヤーを創出し続けられるエコシステム構築 道外類似プレイヤーとの事業展開推進等 委託業務…990千円	③まちづくりを担うプレイヤー候補の伴走 育成支援 個別伴走、育成プログラムの実施 委託業務…2,640千円	
①民間主導による事業推進へのシフト 民間主導体制への移行作業等 委託業務…5,157千円	④域内外のプレイヤー同士の交流支援 ビジネス交流、マッチング等のコミュニティ形成 委託業務…1,650千円								
②首都圏人材の発掘・獲得 人材リクルート、人材募集PR 委託業務…4,554千円	⑤中核プレイヤーを創出し続けられるエコシステム構築 道外類似プレイヤーとの事業展開推進等 委託業務…990千円								
③まちづくりを担うプレイヤー候補の伴走 育成支援 個別伴走、育成プログラムの実施 委託業務…2,640千円									
※経費内訳はR7年度事業費	<p>【移住促進・地方創生人材育成の好循環をめざして】</p>								
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①強い産業づくりを牽引し、村の持続的な発展を担う中核プレイヤー輩出件数（+9名）</li> <li>②IoT、ロボット、AI等地域DX等の先端技術導入検討件数（+3件）</li> <li>③社会増減数（+10名）</li> <li>④中核プレイヤー候補および移住定住者候補となる首都圏・都市部等人材の獲得人数（+35名）</li> </ul>								
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	<a href="https://www.akaigawa.com/">https://www.akaigawa.com/</a>							

# 事業概要【南幌温泉周辺整備事業】

申請者	北海道南幌町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	384,000千円 (384,000千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>南幌温泉に隣接するきららパークを活用して、南幌温泉周辺整備（高規格キャンプ場及び駐車場等）をすることで、南幌温泉（ウェルネスツーリズム対応型施設）と一体となった観光エリア化を図り、ファミリーやグループ、インバウンドが気軽に利用できる滞在型観光施設として、温泉利用客の増加を図るとともに、町内への周遊観光に寄与する観光拠点の要として活用していく。</li> </ul>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p><b>【事業概要】</b> 南幌温泉に隣接するきららパークを活用し、高規格キャンプ場及び駐車場等設備を整備する。</p> <p><b>【拠点整備事業経費】</b> 高規格キャンプ場及び駐車場等設備を整備 ・建築物整備等 384,000千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>大学と包括連携協定を締結しており、学生の課外活動によるキャンプ場宿泊体験や地元農産物の活用したキャンプ飯の実習を行ってもらう。指定管理者は利用者の増加や南幌温泉、周辺施設と連携し利用者の満足度向上を図り、四半期ごとの事業報告書の内容を踏まえ改善点を明確にし、運営内容への反映に取り組む。</p>					<p><b>KPI</b> <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small></p>	<p>①地域における観光消費額（+1億6千万円） ②施設稼働率（+35%） ③施設の収益（▲24万円） ④南幌町の観光入込客数（+13万9千人）</p>

# 事業概要【誰もが躍動し 寄り添い集う 全世代共奏プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	北海道奈井江町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	573,131千円（105,264千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが活躍できる就労の創出と定住促進</li> <li>・誰もが健康で、安心して暮らせるまちづくりの確立</li> <li>・地域資源を活かしたまちづくり</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【活躍・しごと】新しい働き方やしごとの創出と、活躍の場の提供 短時間ワークシェアリング事業 しごとコンビニの運営 36,446千円</p> <p>【住まい】ニーズに合わせた住まいと移動手段の確保 空き家活用情報提供、相談や空き家運用モデルなど 24,930千円</p> <p>【健康】多世代のニーズに合わせた健康づくり事業の充実 健康づくり企画、運営、人材育成 12,051千円</p> <p>【交流・居場所】新たなコミュニティのあり方検討と創出 音楽を中心とした地域課題解決やまちづくりなど 16,210千円</p> <p>【都市部等との連携】都市部等との連携と取組の情報発信 都市部民間企業との地域課題解決プロジェクトなど 15,627千円</p>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> <li>①活躍人口数（+3,701人）</li> <li>②関係人口及び移住・定住者数（+1,213人）</li> <li>③起業件数（+22事業所又は人）</li> <li>④ふるさと納税寄付額（+4,250万円）</li> </ol>		<p>関連URL</p> <p>地域再生推進法人 一般社団法人いえ共奏ネットワーク <a href="http://www.naie-kyousou.net">www.naie-kyousou.net</a> 交付金の具体的使途・実施体制・効果 検証 調整中</p>

# 事業概要【保育園留学を軸とした地域への人流創出と子育て等環境向上事業】

申請者	北海道月形町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	33,668千円 (11,208千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>・「保育園留学」を活用し、子育て世代をターゲットに新たな関係人口を創出し、地域社会との持続的なつながりを構築することで、地域経済の活性化を目指す。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 ○地域外からの人流を創出する保育園事業 ・保育園留学運営経費（委託料）3,630千円 ・移住・二拠点居住に向けた計画策定支援業務（委託料）4,185千円 ・中期滞在の環境整備（賃借料）3,420千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>町内の宿泊施設・コワーキングスペースを活用するほか、民間団体が町外からの利用者に対し地域アクティビティへの接続や生活サポートを行う。こども園では、町外からの未就学児を受け入れることで町民との交流を図り、地域との深いかわり持つ長期的な関係人口の創出に取り組む。</p>					<p><b>KPI</b> ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①地域への経済効果（+15,600千円） ②滞在日数（人数×日）（+1,638日） ③滞在世帯数（+74組） ④移住を希望する人の数（+24人）</p>

申請者	北海道新十津川町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	200,345千円（37,687千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>・ドローンを核にしたまちづくりにより町の課題である人口減少、担い手不足、買い物弱者・交通弱者対策を解決する。</p> <p>・新たな雇用の場の創出や関連交流人口の拡大、地域経済の活性化、移住・定住者の増加、生活の利便性向上を図る。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 新十津川町の基幹産業である農業において、農業用ドローンが農家全体の約4割に普及し町民にとってドローンが身近な存在である。町の新たな魅力としてドローンを核としたまちづくりを進める。</p> <p>【主な経費】</p> <p>①開校したドローンスクールにより、北海道ならではの冬場での操縦実技や、知識を習得を通して冬期間も対応可能なドローンパイロット等関連人材の育成と人材交流 13,234千円</p> <p>②ドローン飛行テストコースを設置運営 5,050千円</p> <p>③ドローンを活用した買い物代行サービス事業の実装 5,082千円</p> <p>④ドローンを活用した観光コンテンツ開発 3,025千円</p> <p>⑤プロジェクト全体管理 11,296千円</p>		 <p>物流用ドローンのデモフライト</p>
KPI	<p>①ドローン関連人材移住、定住者数（+17人）</p> <p>②ドローン関連交流人口数（+280人）</p> <p>③新規雇用創出数（+30人）</p> <p>④関連ドローンフライト数（+315回）</p>		<p>関連URL</p> <p>(ドローンプロジェクト)  <a href="https://www.town.shintotsukawa.lg.jp/hotnews/category/355.html">https://www.town.shintotsukawa.lg.jp/hotnews/category/355.html</a>                      (効果検証)  <a href="https://www.town.shintotsukawa.lg.jp/hotnews/detail/00005176.html">https://www.town.shintotsukawa.lg.jp/hotnews/detail/00005176.html</a></p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値